



アンカー Anchor

INSIDE

- 巻頭言 2
ウィーマー大学主催の医事伝道と音楽伝道 4
ジョン・シャーフェンバーグ医師の
ライフスタイル-100歳でピンピン! 7
間食に関して 9
一日二食プラン 11
体内電流の循環 20
ファルメキア～黙示録のまじないとは? 26

68号

2023年 8月

日本では、各地で台風や大雨、洪水、土砂災害等の被害が多く発生している。また、近年では広範囲で猛暑が発生している。そもそも、日本の気温は年々上昇しており、特に夏と秋にかけて異常高温が多く見られている。また、気温の上昇のみではなく、冬の極度な気温低下も近年みられる異常気象の一つ。

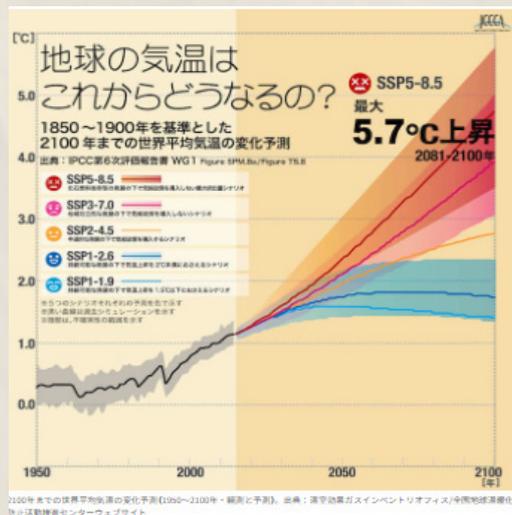
朝日新聞デジタル 2022年8月23日によると：「6月下旬～7月初めに記録的な猛暑となったことなどを受け、気象庁は異常気象を分析する専門家をつくる検討会を22日に開いた。会長の中村尚・東大教授は会見で「平均気温の記録を更新し、時期も非常に早かった。異常と言って差し支えない」と述べた。

しかし、「異常気象は、2047年から「普通」になる」『WIRED』日本版 VOL. 13とも言われている。

ニュースでは、これらの被害は、「～年ぶりの」被害という表現が繰り返されている。しかし、聖書によると、世の終わりの前に、あちらこちらに頻繁にこれらの自然災害は起こると言われている。靈感の書ークリスチャンの奉仕 70 頁によると次のように書いている：

「神の抑制のみたまはいま世からとり去られつつある。暴風、嵐、火事、洪水、海陸の災害が次々と急速に起こっている。科学はこれらのすべてを説明しようと試みる。われわれの周囲に頻繁に起こっているしるしは、神のみ子の来臨が近づいた事を告げているのであるが、それは真の原因よりも他のせいにされている。人々は、神のしもべたちが印されるまで風を吹かせないように四隅の風をひきとめている見張りの天使たちをみとめることができない。だが神が天使たちに風を解き放つようにお命じになると、描写することのできないような争闘の光景が現われるのである」。—

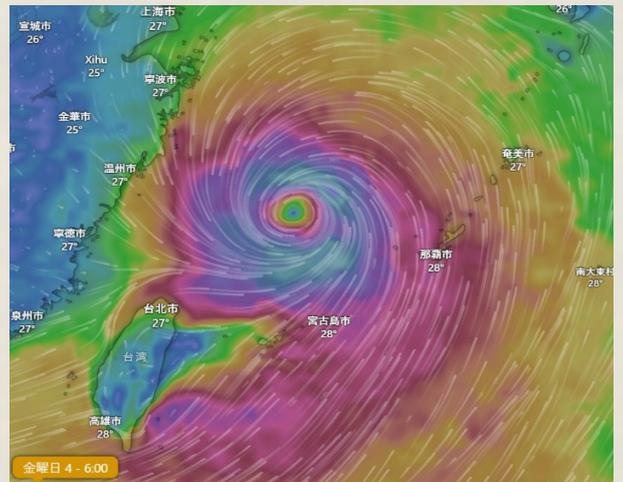
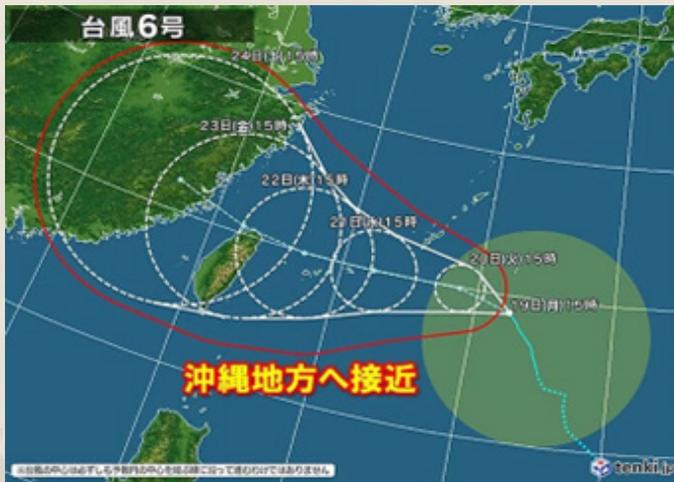
大争闘下 352 には、「サタンは人々に対し、あらゆる病気をいやすことのできる偉大な医師のようにみせかけながら、他方では病気や災害を生じさせ、ついには人口の多い都市が破滅して荒廃する。彼は今も活動している。海や陸における事故や災害、大火災、激しい突風、すさまじい降雹、あらし、洪水、たつまき、津波、地震など、あらゆる場所に幾多の形でサタンは力をふるっている。彼は取り入れまぎわの収穫を全滅させ、ききんと困窮を引き起こす。彼は空気を恐るべき病毒で汚染させ、幾千人もの人が悪疫で死ぬ。これらのできごとほますますひんぱんになり、悲惨なものになる。破滅は人間にも、動物にもおよぶ。『地は悲しみ、衰え、……天も地と共にしおれはてる。地はその住む民の下に汚された。これは彼らが律法にそむき、定めを犯し、とこしえの契約を破ったからだ』」



台風6号の瞑想

7月28日に台風6号が発生して、沖縄接近の警報がずっと流れていました。だんだん勢力が強くなり、ゲリラ号も伴い、またUターン後もノロノロのため停電が続発。「最大の停電数は、総戸数(63万3670戸)の5.7%が停電している」6日、11時間前。異例な進路であった。最初は中国大陸に向いていたのに、またUターンして沖縄に戻ってきました。北北東に進路が変わる予測は、北の方へと向かうという。我々の住んでいるところは、月曜日から停電。安息日はお休み。午後6時半からやっと電気がつくようになりました。携帯、Ipadなどの電気の消耗が減って心配していましたが、ポータブル電源が用意されていたので、ほんとに助かりました。

この度の経験でいろんな教訓を学びました。8月19日の説教で「天気予報と聖書預言」について説教したいと思っています。「正直に言って、進路予報の不確実性が大きい」という記事がありました。聖書の預言は確実であると2ペテロ1:19に書いてあります。異例なことが次々起こることになっています。7つのラッパ(過去適用は間違い)、7つの災害が迫っています。目を覚まして用意をする時です。あえて、写真を多く載せました。

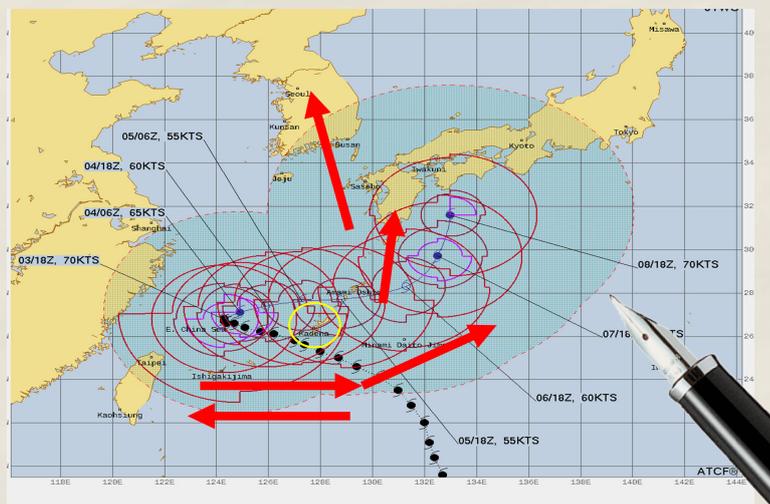


黄色い丸のところは沖縄です。

電気がないことの不便さをつくづく感じさせられました。しかし、

断水にはならなかった事は感謝でした。

この記事を書いている1時間前、進路がまた変わりました(7日9:30)。



サンライズミニストーリー代表 金城重博



ウィーマー大学 主催の医事伝道と 音楽伝道

JUNE.04, 2023 by 金城重博

この度、ウィーマー大学の学生が韓国、東京三育小学校、千葉にある三育学院、広島三育学院高校、沖縄三育中学校での音楽伝道－管弦楽演奏旅行を終えて、最後に沖縄北部の本部交流センターで健康フェアとオーケストラコンサートをするようになりました。



本部交流センターにおけるイベントを紹介する前に、ウィーマー自給伝道機関について簡単に説明します：

カリフォルニア州、サクラメントの北部に位置するウィーマー健康・教育施設、最初は、次の E.G. ホワイトの勧告に従って、サニタリウムから始まりました。

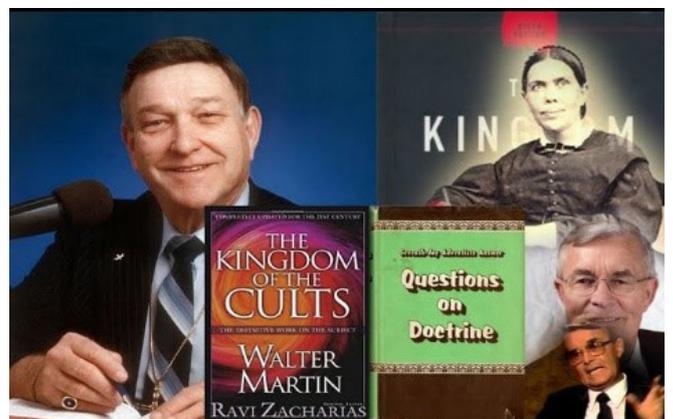
「我々はアウトポストセンターから都会に働きかけるべきであるということ、主は繰り返し我々に指示してこられた。これらの都市の中に、神のための記念碑として礼拝の家を持つべきである。しかし、我々の文書を出版するための機関、病人のいやしのための機関、そして働き人の養成のための機関 [大学] などは、都市の外に設置されるべきである。我々の青年たちが都会生活の誘惑から保護されるということは、特に重要である」。2SM 358 (1907 年)

今では、祝福され大きくなり、いろんな国々から真の福音医事伝道を学びに来る機関となっています。

おもしろいエピソードがあります。キリスト教



界で教派の研究、カルト（異端、分派）の研究で有名な、福音主義派のバーンハウス博士とマーティン博士は、セブンスデー・アドベンチスト教会の教理は非聖書的で、エホバの証人やモルモン教と同じようにカルトで、キリスト教界から外すべきだと非難しました。マーティン博士は、セブンスデー・アドベンチスト教会のほとんどの出版物を調べて、そう言ったのです。「最後の贖い」「キリストの性質」「聖書以外に E.G. ホワイトという預言者を権威としている」等々の SDA の特殊教理は珍奇なものだと非難しました。SDA のアンダーソン、フルーム、リード、アンルー先生方は、何百時間の話し合いをして、理解をしてもらいました。結果「Questions on Doctrine = 教理に対する質問」という本がわが教会から出版されました。1957 年のことです。



マーティン博士は、比較宗教の権威者として有名で、非常に影響力のある人。『カルトの王国』(1965) という本を著しました。エホバの証人、モルモン教、ニューエイジカルト、統一教会、バハイ教、ヒン

ドゥー教、仏教、イスラム教、などなど。

そのマーティン博士が、太り過ぎや糖尿病などの身体的な問題があって、皮肉なことに、1980年代前半に体調を崩しかけたとき、彼は健康を取り戻すためにウィーマー健康研究所を訪れたのです。そこで彼は、エレン・G・ホワイトが勧めるヘルスケアを受けて、大いに助けられたそうです。

さて、ウィーマー大学主催のイベントに話を移しましょう。

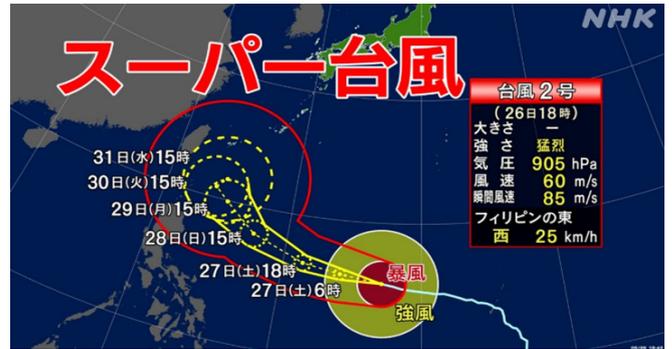


詳しいウィーマー健康機関の紹介は、次の動画で見ることができます。<https://weimar.edu/about-us/campus-beginnings/>

5月の終わりから6月の初めにかけて、大型台風2号が沖縄に接近するというので、私たちは計画していた健康フェアのプログラムがおじゃんになるのではないかと少々心配しました。というのは、わざわざカリフォルニアのウィーマー大学の学生20人以上も来て、大掛かりなプログラムをやることになっていたので。内容は、次のようなこと。健康チェック、ライフスタイル、血液検査(コレステロール、中性脂肪等々)、ニュースタートの健康八原則の説明、健康講話、オーケストラ演奏と菜食料理講習会、椅子に座ってのマッサージ、水治療法、ヘルスカウンセリング等々に大学(予防医学)の学生がみんな担当に当たって、私たちも協力するというものでした。

そして来られるお客さんにビーガンの弁当を無料で提供するという初めてのイベントでした。6月4日(日)のプログラムのために、すでに宣伝はしているし、もし、台風が来れば用意していた200人分の弁当の食材をどうするか、どれくらいの人に来るのか、…神の摂理を信じて、200人を見込んで弁当も用意していました。

先島諸島で45mの台風が沖縄に直撃するなら土曜日安息日の国際教会での演奏会もダメになるし、日曜日の本部交流センターでのプログラムもダメ



になる。ところが、台風は沖縄を恐れてか、急に進路を変え、不思議に天気は土曜日から晴れることになったのです。ウィーマー大学のグループは、6月1日(木)夕方7時ごろの来島は、台風沖縄接近ということで航空会社は欠航したので、国際教会での演奏会はキャンセル。彼らは土曜日夕方遅く来島。グループは宿泊させていただく八重岳学園に夜遅く到着。翌日の午前10時から、午後の5時までのプログラム。いよいよプログラムが始まりました。



お昼の弁当、200人分は全部なくなりました。何と不思議なことをなさる神様でしょう。天気は晴れ、弁当を用意しただけの人数が集まりました。

いよいよ開場となり、人々が続々集まってきました。ウィーマーのスタッフ、サンライズ・ミニストリー、今帰仁教会のボランティアの協力者たちもブルーのユニフォームを着て楽しい雰囲気でした。

講演は、息子の金城マーク N.D(自然療法医)、グアム島からは、宮城嗣真医師(M.D)によってなされました。沖縄健康長寿を取り戻そうと、欧米化してきた沖縄のライフスタイルの改革を話されました。多くの方々が生活習慣の誤りに驚き、予防の重要性を知って感謝していました。



最後に八原則のコーナーを回って、私も含めて数人の者がカウンセリングしました。私は八つのコーナーで学んだライフスタイルの中ですぐ自分の体で、一つ実行してほしいことを強調しました。それは1週間は「間食はしない」ということです。お腹がすいたら水を飲んでください。その科学的な資料をあげました。そして、かつて私は北部老人会長に頼まれて健康講話をしたことがありました。私は最後に「皆さん、講演の内容を忘れても、一つだけ実行してほしいことがあります。決して死ぬことはありませんから、試しに自分の体に実験してみてください。それは、1週間、間食をしないこと。お腹がすいたら水を飲んでください」。私の勧めを実行してみた島袋三好会長から1週間後電話がありました。「先生、空腹の幸福さを経験しました」と。この人は、92歳で、毎日自転車に鶏糞を載せて、山のふもとにパイナップル、バナナ、みかんを育てに行くのが彼の運動でした。

この健康フェア、私のところに来た人には、同じことを勧めました。かつて沖縄は全国で健康長寿トップであったが、最低になりましたので「沖縄の健康長寿を取り戻す運動にあなたも参加してください」と言って別れました。

アンケートによるお客さんの反応、評価を見ると次のようでした：

- ・ ていねいな対応ありがとうございました。
- ・ 途中で、子供が少し飽きてしまったので、こどもにもわかりやすいお話や資料があると、ゆっく

り見られたかなと思います。料理講習、とても勉強になりました。

- ・ 中部あたりで催したらどうでしょうか。大変良かったです。勉強になりました。金城マーク先生、宮城嗣真先生のお話、とても勉強になりました。
- ・ これからの健康を維持するために大変勉強になりました。日頃の生活に役立てたいと思います。
- ・ 健康について知ることができて良かったです。
- ・ 医療者の私としてもとても勉強になる内容でした。
- ・ ありがとうございました。参加してとても良かったです。
- ・ 大満足！
- ・ 初めての参加で少しびっくりしています。
- ・ 私はカトリックです。同じキリスト教徒としてとても喜んでます。今日これたのも神様の導きと思います。
- ・ ありがとうございました。説明がよくていいでよかった。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 初体験でした。とても良かったです。
- ・ 大変良かったです。もっと多くの人たちに来てほしいと思いました。

何よりも、参加し協力して下さったスタッフの方々が、非常に喜んでいました。

E.G. ホワイトは次のように言っています：

「健康改革の働きは、世の苦しみを減少させ、ご自分の教会を清める主の方法である」。 9T 112,113

「医療伝道の働きと第三天使の使命を宣べ伝える働きとを組み合わせなさい。墮落し、そこに何年も留まっている死の状態から教会を引き上げるために、系統だった、よく組織された努力をなさい。一つ一つの家庭や個人に、第三天使の使命と関連づけて、健康改革の原則を提示できる働き人を送りなさい。すべての人が仲間のために何らかの働きに参加することを奨励して、これらの教会に生命の息が速やかに戻って来るかどうかを見なさい」。 (TM 416) 聖霊に導かれて下 187-188

ジョン・シャーフェンバーグ医師の ライフスタイル—100歳でピンピン！

金城重博



最近、長寿で注目を浴びている人がいます。YouTubeを見ると分かります。いろいろな人、団体が彼にインタビューを申し込んでいる。彼とアメイジング・ファクツのダグ・バッチェラーとのインタビューを (<https://www.youtube.com/watch?v=m1aFs1uD-Rg&t=3s>) 見ることができる。多くのインタビューを見た時、「アッ、今もこんなに元気で生きておられるんだ」と驚いた。なぜか？

100才の長寿者は世界に少なくはない。認知症で、寝たきりである人が大勢いる。しかし、彼は今も100才でありながら、世界中からの健康に関する権威的データが頭に入っていてインタビューにレジメを見ないで、対応している。今も研究し、講演しているのである。YouTubeに彼の姿を見てびっくりした。なぜなら、彼は、私がロマリンダ総合大学の公衆衛生部の時の教授であったからだ。いろんな教授がいたが、最も実用的な、伝道に直接結びついた知識を与えてくれたのは彼であった。彼は「ハートビート = Heartbeat」プログラムの発案者であった。

私がロサンゼルスで働いていたとき、日本人に伝道するために、まずは「右の手」である健康伝道から働こうと、日本人の牧師、医者たちを集めて勉強会をした。彼から学んだ「ハートビート」プログラムを日本人医師たちに紹介した。医師たちは喜んで協力したいと意思表明した。看護師、栄養士、検査技師たちも積極的に協力してそのプログラムをやることになった。新聞広告をして、テレビでも宣伝してくれた。いよいよ初めてのプログラムをすることになった。何と400人の人たちが集まった。3か

所でやった。ある所は300人。医師たちも自分たちも都市伝道できる喜びを経験した。そしてリトル東京にアドベンチスト・ヘルスセンターを開いたこともあり、また、ベターリビング・センターも開いた。

ジョン・シャーフェンバーグ医学博士は、医師、栄養士、ロマリンダ大学栄養学教授、ハーバード大学公衆衛生大学院卒。カリフォルニア州ベーカーズフィールドのパシフィック健康教育センター所長。国のトップの栄養学者が集まる国防のための栄養に関する省庁間の委員会事務局にもいた。健康と長寿に関連する世界に特別な関心を持っている。



「インタビューア」の、アメイジング・ファクツ (驚くべき事実) ミニストーリーのダグ・バッチェラーについて：

「航空王の10代の息子だった若きダグは、お金で買えるものは何でも手に入れることができたが、真の平穏と幸福を見つけることはできなかった。問題児だった彼は学校でケンカをし、自殺願望を抱き、ついには15歳で家出をした。

人生に嫌気がさし、意味がないと確信したダグは、無謀な人生を経験しようと決心した。ドラッグに手を出し、犯罪に手を染め、刑務所にも入った。しかし数年後、パームスプリングスの山の上にある人里離れた洞窟が彼の家となった。父親がヨット、ジェット機、ロールスロイスを所有していたにもかかわらず、ダグはゴミ箱で食べ物をあさるようになった。

ダグが探し求めた幸福は、何年もの間、彼を遠ざけ続けた。誰かが彼の洞窟に置いていった埃まみれの聖書を見つけるまでは。読むうちに、彼はキリス

トを救い主として信じ、受け入れた。今では、非常に積極的なミニストリーをしている」。

ダグ・バチェラー牧師が7つの長寿の秘訣は、何ですかと聞いたら、まず第一に「運動」と答えた。そして、正しい食べ物について説明し、菜食がいいこと、節制について、何であってても適度と強調。間食はしないこと、水を飲むこと、運動、水さえも過ぎると害になること、「摂り過ぎると血中のナトリウム値が下がって脳が膨らみ、死に至ることがあります。脳の膨張は非常に危険です」と言う。

DR. マーヴィン・G・ハーディン



マーヴィン・G・ハーディン医学博士 (MD, DrPH, PhD) は、ロマリンダ大学公衆衛生学部を1967年に創設。医学博士、薬理学博士、栄養学博士、健康学の分野で幅広い経験を持つ。公衆衛生、予防医学、生活習慣病、医療伝道訓練を与えるようになった。菜食主義推進者である。



Dr シャーフエンバークも、Dr ハーディンの理念に同意し、協力した人である。



ロマリンダ大学は、最初はサニタリウムで始まった。そして、医事伝道者のカレッジとなり、福音伝道と医事伝道を結合した働き人を養成するところであった。



新しいロマリンダ大学メディカルセンターは、カリフォルニア州の病院の中で、建物の高さが最も高く、面積も、UCLA メディカルセンターに次いで、2番目に大きい医療施設となる。(ウィキペディア)

Dr シャーフエンバークは、E.G. ホワイトが真の預言者であることを確信し、世界中のデータを集め、実験し、一生自分の体で実証した人である。彼は、E.G. ホワイトの「これが真の療法である」ことを科学した人であった。一生、菜食主義者であり、1日2食主義者であった。「朝起きたらだれを助けることができるだろうかを考える」。快活な心

の持ち方が重要であることも長寿の秘訣と言う。



WHO, 米国心臓協会、ヨーロッパ心臓協会は共に、7つのリスクを避け、生活様式を正せば、心臓発作、脳卒中を80%も減らすことができると意見が一致している。糖尿病88%減らすことができる。タバコ、アルコール、運動不足、肥満、肉と砂糖の摂りすぎ、高血圧、血中高コレステロールを軽減する、そのためには菜食主義がいいこと、長寿の秘訣だと強調しておられる。



医者は生活様式を教える時間に10分以上費やさない。薬を処方する現代の医療の在り方に不満を漏らす。

「主は私に健康改革施設の設立に関して特別な光を与えてくださった。そこでは、病人の治療が、この世界のどの施設にも存在するものとはまったく異なる方針で行われるようになる。聖書の原則に基づいて設立され、運営され、主の手段でなければならぬ。この施設に関わる者は、健康を回復させる原則を教育されねばならない」。(手紙205、1899、p. 1. J.H. ケロッグ博士宛、1899年12月19日)

ロマリンダの公衆衛生の理念を受け継いだウィーマーライフ・スタイル健康センターの学長であるDr ネイル・ネドレーも Dr シャーフエンバークを招いてインタビューをした。



間食に関して

金城重博

正常な胃が空っぽになる時間を、レントゲンで調べてみた。すると胃はほとんどの場合、2時間半から4時間で空っぽになるので、食物が食後5時間以上も胃に残るのは、異常であるということがわかった。

そこで普通の西洋式の朝食 — シリアル、コーヒーとミルク、パン、缶詰のフルーツ、卵 — を幾人かの人に与えて、数回にわたってテストが行われた。その人々の胃をレントゲンで調べた結果、通常4時間半以内で空になることがわかった。

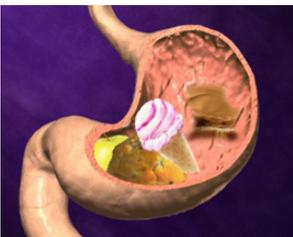
数日して、同じ人に同じ朝食を与えてから、次のような実験がなされた。



1) 朝食後、2時間経ってからアイスクリームを与えると、胃の中に**6時間経た後も**朝食が残っていた。



2) 朝食2時間後、ピーナツバターを塗ったパンを与えられた人の胃には、**9時間経た後も**、朝食が残っていた。



3) 朝食2時間後、パン・ピンクパイ1切れとミルクを1杯飲んだ人は、**9時間経っても**、朝食の大部分が胃に残っていた。



4) 朝食1時間半後に、バターを塗ったパン半切れを与え、それを1時間半毎に繰り返して、夕食を抜いた。その人の胃には、**9時間経った後も**、朝食の半分以上が残っていた。



5) この人は朝食を8時にとり、午前中に2回、午後に2回チョコレートを食べた。すると朝食後**13時間半たった夜9時30分に**、朝食の半分以上がまだ胃に残っていた。

普通は、約3時間経ったら胃は空っぽになり、次の食事まで休ませなければならない。

これらの実験から、間食はたとえピーナツ1つまみであっても、朝食後11時間後までそのほとんどが胃に停滞するほど、消化を遅らせることがわかった。このような習慣は人間の体のメカニズムを狂わせ、正常な機能を破壊し、体力、知力、感情の効率を低下させてしまうのである。また、不完全な消化の途中で、有害な化学物質が発生する。例えばアルデヒド、アルコール、エーテルなどで、これらは頭脳、肝臓、腎臓、その他繊細な組織を毒する原因となる。

食事を規則的に食べるための鍵は、朝食をしっかり摂ることにある。朝食を抜くと昼食前に空腹になり、スナック（おやつ）を食べることになる。スナックは食欲を減退させ、昼食を軽くしか食べない事になるので、しばらくすると又空腹感が襲ってくる。午後のスナックが欲しくなるのも当然である。そうすると夕食が必然的に遅くなる。遅い夕食をとった後、更に又スナックを食べるかもしれない。こうして寝る時に消化されていない多くの食物が胃に残

り、消化器官は睡眠による休息を得ることができず、朝起きててもどうも寝足りない、スッキリしない、ということになる。

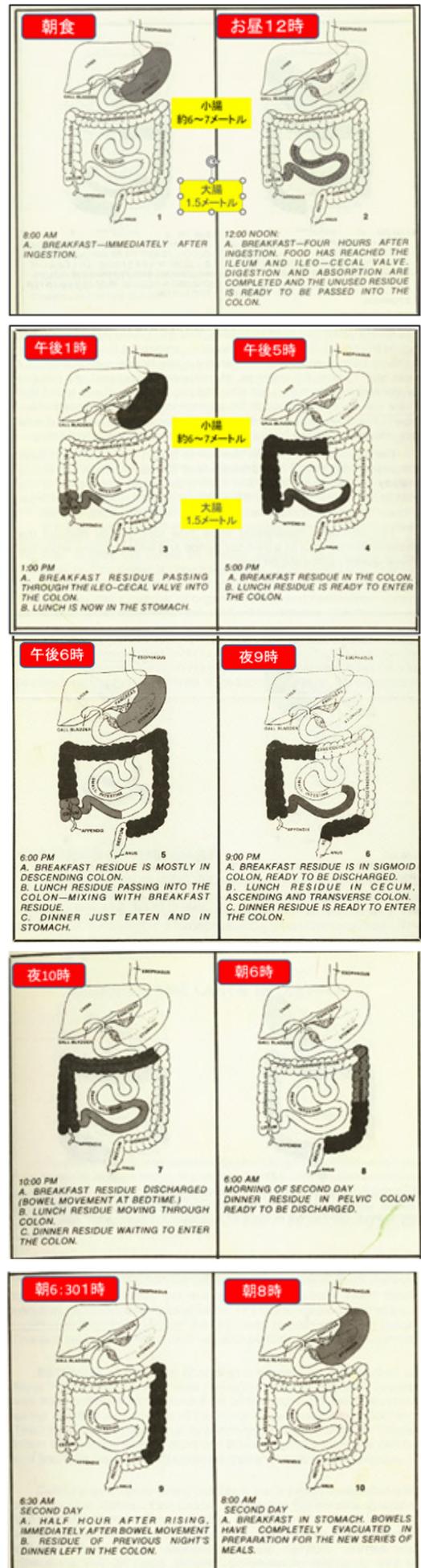
最も良い習慣は、朝起きてから3時間以内に朝食を食べ、昼食まで少なくとも5時間、できれば6-7時間待つことである。そしてまた5時間あけて、夕食は消化しやすいものを軽く、寝る数時間前に摂る。多くの人にとって、夕食を抜いて2食にするのが良い。夕食を抜くことを習慣づけるのに5、6ヶ月かかるかもしれないが、辛抱強く続けるならば、今まで3食目に費やされていた力が戻ってきて、スタミナを感じるであろう。

●食事と食物に関する勧告# 285. 「この場所でこれ程の光が与えられた後、あなた方の多くが間食をしていることを知って私は驚いた。**規則的な食事と食事の間には、決して一口の食物も口に入れてはならない**。自分が食べるべき物だけを一度の食事に取り、あとは次の食事まで待ちなさい」。(2T 373, 1869年)

●食事と食物に関する勧告# 286. 「多くの人が知識を拒絶し、原則を味覚の犠牲にする。彼らは身体が食物を必要としないときに不規則な間隔で食べるが、それは性癖に抵抗するだけの道徳的な耐久力がないからである。その結果、酷使された胃は反乱を起こし、その後に苦痛が続く。規則正しい食事は、肉体の健康と精神の平静さのために極めて重要である。**決して一口の食物も食間に食べてはならない**」。(CH 118, 1890年)

●食事と食物に関する勧告# 290. 「食間に不規則な間隔で食べる他に一日三度の食事をすることは、世間の人々にとってごく普通の習慣である。そして最後の食事は一般に、最も十分に取り、しかも就寝直前に取ることが多い。これは自然の秩序に逆らっているのであって、たっぶりの食事は、決して遅らせるべきではない。これらの人々が彼らの習慣を変え、**一日二食をし、間食をせず、一個のりんご、堅果類、あるいはどんな種類の果実でも食間に取らなければ、その結果は、旺盛な食欲と大いに増進した健康となって現れるのである**」。(RH 29, 1884年7月)

●ユダヤ人は2食の習慣がある。ユダヤ人の平均IQは120でノーベル賞受賞者の約30%がユダヤ人で(ユダヤ人の総人口は1300-1400万人といわれ、その割合は世界の人口の約0.2%である)、世界の大富豪にはユダヤ人が多い。





一日二食プラン

THE TWO MEAL A DAY PLAN



質問：世の普通の人々の習慣は何ですか？

答：「世の人々のたいていの習慣は一日3回食することである。それに、食間に不規則に食べる。そして夕食は最も重く、寝るすぐ前にしばしばとる。」 MM282 (RH 7-29,1884)

質問：人々の健康を大いに改善するのは何でしょう？

答：「これらの人々がその習慣を変え、一日に二食のみ食べ、一切間食せず、りんごであろうが、ナッツであろうが、どんな種類の果物であろうと間食しないならば、結果は健全な食欲と大いに増進した健康に見られるであろう。」 (RH 7-29,1884)

質問：何故一日二食の方が好ましいのでしょうか？

答：「ほとんどの場合、3食より2食のほうが好ましい。夕食を早くすると、先の食事の消化を妨げる。遅くとると寝る前にそれ自体が消化されていない。だから胃は適当な休息を得ることができなくなる。睡眠は妨げられ、頭脳と神経は疲れてしまう。朝食への食欲はそこなわれ、全身がすかっとしないで、一日の義務に備えができない。」 DF176

「胃には注意深い関心をよせなければならない。いつでも働き続けている状態であってはならない。この誤用され、乱用されている器官に、安らぎと、静けさと、休息を与えなさい。胃が一

食のために働きをなし終えたら休むチャンスを与えないで、重荷を負わせてはならない。又もっと食物を消化するために自然によって胃酸の十分な供給が与えられる前に更に過重な働きをさせてはならない。」 DF173

質問：食事と食事の間はどのくらいの時間離れているべきでしょうか？

答：「各食事の間は少なくとも5時間は離すべきである。そしていつも覚えてほしいことは、試してみれば3食より2食の方が良いことがわかるであろう。」 DF173

「食事を処理した後、消化器官は休みを必要とする。食事の間は少なくとも5時間から6時間の間をおくべきである。試してみるならば、ほとんどの人が3食より2食の方が良いことを発見するであろう。」 DF173,174(1905)

質問：どれだけの人が1日3食より2食の方が良いことを発見するのでしょうか？

答：「…この計画を試すほとんどの人は3食より2食の方が良いことを発見するであろう。」 同

質問：ある事情のもとには、ある人は3食を要求するのでしょうか？

答：「ほとんどの人は3食より2食にした方がよりよい健康を楽しむであろう。ある人は、ある事情のもとでは夕食を要求するかもしれない。し

かしそれはごく軽くすべきである。誰も自分がするように他人もその通りにしなければならぬと…みんなの標準と考えてはならない。」 DF176

質問：夕食はいつとるべきでしょうか？

答：「もし夕食をとるなら軽く、寝る数時間前にすべきである。」 DF174

質問：夕食にはどんな食事が最も適当でしょうか？

答：「一日に二食の習慣は一般的にみて健康によいが、事情によっては三食を必要とすることもある。しかしそれは食べるにしても非常に軽い、最も消化しやすいものでなければならない。クラッカーすなわちビスケットかズアイバッグそれに果実か穀類でつくったコーヒーが夕食に最も適した食物である。」 ミニストリー・オブ・ヒーリング 295 (和) DF176

質問：食物は三食以上にもっと食べてもいいものでしょうか？

答：「一日三食、その間何も、りんご一つさえ…食べないこと、これが大目に見て最大限度である。自然の法則をそれ以上穢すと罰に苦しむであろう。」 DF182

「胃は一日8回も食物を要求するように教育されていて、供給されないとふらふらと感ずるかもしれない。しかし、何回食べてもいいという理屈は成り立たない。」 DF175

質問：夕食を遅くとるとどんな害があるのでしょうか？

答：「遅く夕食をとる結果、消化作用は睡眠中にも継続する。胃は絶えず働くが、その働きは完成されない。不快な夢で睡眠がしばしば妨げられ、翌朝目が覚めても快い気分になれず、朝食がお

いしくない。わたしたちは休むために横になるときは胃が仕事を終え、他の器官と同じように休息を楽しむ状態でなければならない。あまり運動をしない人は、夕食が遅くなるのは特に有害である。これがもとでついに死ぬべき病気をひき起こすことがよくある。」 ミニストリー・オブ・ヒーリング 280 (和)

「世の人々のたいていの習慣は、一日3回食することである。それに食間に不規則に食べる。そして夕食は最も重く、寝るすぐ前にしばしばとる。これは自然の秩序をひっくり返すことになる。重い食事はそんなに遅くとるものではない。」 DF181

「大食すること、不規則に食物を胃に入れることは、組織の一つ一つに影響を残すのである。」 DF182

質問：ある人は夕食時に食べないとふらふらと感ずる。どうすればいいでしょうか？

答：「3食から2食に変えつつある人は幾分ふらふらと感ずるのである。特に3食とることが習慣であった時には。しかし、しばらくの間がまんとすると、そのふらふらは消滅するのである。」

「我々が寝るときには胃はその働きを終え、他の器官と同じように休息を楽しまなければならない。消化の働きは寝ている間中なされてはならない。過重な働きをした胃はその働きをして後は、消耗してしまっているものであり、それが弱々しさ(ふらふら)を起こすのである。ここで多くの者があざむかれ、このような感じを起こすのは食物の不足だと思い、胃に休みを与えないで、ふらふらする感じを除こうと、もっと食物をとる。その食欲のままにさせると、もっと満足を要求するようになるのである。」 HOW TO LIVE 1-56

「あなたは二食以上食べてはならない。夜食べなければならないと感じたら、冷水を飲みなさい。翌朝になって、食べなかったためにもっと気持ちよく感ずるのである。」 4T502にある手紙より

質問：ある人々にとっては、第3食目は食欲をほ

しいままにする誘惑になるでしょうか？

答：「特に食欲に関する誘惑に抵抗し、自己否定を
実践する道徳的スタミナを持っている人は少ない。
ある人にとっては他の人が第3食をとるの
を見ることに抵抗するのに強すぎる誘惑となる。
胃が食物を要求しているのではないのに、空腹
と想像するのである。しかしそれは固い原則で
強くしていない、自己否定の訓練を受けていな
い精神の要求にすぎない。自制の壁は一瞬の間
に破壊されてはならない。異邦人への使徒パウ
ロは『自分のからだを打ちたたいて服従させる
のである。そうしないと、ほかの人に宣べ伝え
ておきながら、自分は失格者になるかもしれな
い。』と述べた。」

「小さな事を克服しない者は、大きな誘惑に抵抗
する道徳的力を持たないであろう。」 DF168

質問：ヘブル人（ユダヤ人）は一日何回食べまし たか？

答：「一日2食することは、ヘブル人にとって習慣
であった。最も重い食事は、お昼からそんなに
離れてはいなかった。」 3BC1165

質問：ホワイト夫人は一日何回食事をとられまし たか？

答：「40年以上、一日2食以上しなかった。特別
に重要な働きがあるときは、食事の量を制限し
た。」 DF492

質問：彼女の家庭でほかの人が夕食したいときに 禁じられましたか？

答：「私達の食事は一日に2回備えられたが、夕方
食べたい人がいる時には、それを禁じる規則は
ない。食事に不満足のまま立つものは誰もいな
かった。」 DF491

質問：彼女は何食するかということを試金石にし

ましたか？

答：「私は一日に2食するのみである。しかし食事
の数を試金石にすべきとは思わない。3食する
方が健康に良い人たちは3食することは彼らの
特権である。私は2食を選ぶ。私は35年の間
2食主義を実行してきた。」 DF178(1903)

「私はこの問題を人々の前に、一般的な原則にと
どめて提示する。そして時々招待される時、食
卓で質問される時、真理に従って答える。しかし、
食卓やその内容に関して誰かに攻撃を加えたこ
とは決してない。それは決して礼儀でもないし、
適当な態度とは思わない。」 DF493

質問：ホワイト夫人はどのような時間に2食の時間 をとりましたか？

答：1860年後半

「私達は7時に朝食をとり、1時に昼食をとった。
(Dinner) 4SG 154

1870と1871年 Christian Temperance and
Bible Hygiene を書いた時 -226p

6:30と12:30 ジェームス・ホワイトが書いた。

ある者にとって非常に不便なことがある場合に
は、食べる時間を少し変えることがある。私は
1日2食しかとらない。そして、今でも35年
前に与えられた光に従っている。」 DF490

7:30と1:30 1903年 L-82

質問：こういうプログラムで彼女はどんな働きを したのですか？いつも早々と帰られましたか？

答：「私は朝5時半に起き、ルシンダの皿洗いを手
伝い、暗くなるまで書きものをし、それから必
要な縫いものをし、夜中近くまで起きた。一日
の書き物をした後、家族の洗たくをした。酔っ
た人のように、くたくたに疲れることがしばし
ばあったが、しかし、ささえられた事に対し主
に感謝する。」 L-1, 1873

質問：旅行している時も同じプランでしたか？

答：「旅行の最初のころは天気は非常に重苦しかった。あるところでは影で温度計は125°Fにもなった。南カリフォルニア、アリゾナで炉から出てきたかのように熱風が吹いた。それを恐れていたのがあったが、驚くなかれ、熱のため消耗しなかったのだ。私達は自分達の弁当をもって、定期的に一日2食をした。(いつものように)食事は果物とパンによって成り、お茶やどんな種類の刺激物もなかった。主の祝福がたえず私にそそがれ、毎日強くなっていった。」RH 9-15,1885

質問：多くの人是一日2食しかとらない…昼食をとって、夕方にもう一食する。これは十分な計画でしょうか？

答：「朝食は軽くとることが社会の習慣である。しかしそれは胃を扱う最善の方法ではない。朝食時こそ昼食時、夕食時よりもっと多くの食物を処理するよりよい状態なのである。(胃にとって)けちな朝食のとり方をして夕食を重くすることは間違いである。朝食を一日の食事の中で最も重いくらいの食事にしなさい。」DF173 L-3,1884

質問：二食プランは健康改革使命の重要な一面でしたか？

答：D.E. ロビンソン(ホワイト夫人の秘書)は「我々の健康使命の物語」142 ページに次のように書いている。

「一日二食制について我々が今日どう考えようと、その時は健康改革使命の重要な一部であった事実は疑えない。」

質問：セブンスデー・アドベンチストはそのプランをとり入れましたか？

答：答を見つけるために、1880年に出版された

“Christian Temperance and Bible Hygiene” という本から引用する。それはホワイト夫人の書物、ジェームス・ホワイトのいくつかの記事と、J.N. アンドリュウス、ジョセフ・ベーツ-2人のセブンスデー・アドベンチストの健康運動におけるパイオニアの個人的経験…が編集されたものである。その本の序論に次のように書いている。「この編集の働きは、ホワイト夫人の監督のもとで、一つの目的のために彼女によって指名された委員会によってなされ、その原稿は彼女が注意深く吟味した。」

ジェームス・ホワイト長老は“衛生改革：セブンスデー・アドベンチストに於ける、その起こりと発展”という章に次のように書いている。

「セブンスデー・アドベンチストは、三食のかわりに一日2食をとり入れてきた。しかし、それは彼らの教団の規則ではなく、教会組織や教会はこれらのことを規則することとは何の関係もない。しかしながら、彼らは肉食を廃し、一日2食をたいしてはしている。これらの事実は、昨年夏メインからカンザスに至るまでのキャンプ・ミーティングに於いて、個人的に観察したことから学んだことである。我が教会の牧師達は衛生改革を説教し、どこへ行こうとそれを実行している。そして、我が教会員のすべての家庭に多くの文書を通して届けられている。」CTBH 216

ホワイト長老は次のように書いている。

「健康的食事と、一日2食の問題が最初セブンスデー・アドベンチストに紹介された時、大多数の者達に快く受け入れられた。これは大部分提示のしかたにかかっていた。我が教会員に最初に話したのはホワイト夫人であった。彼女は各州をまわり、大集会毎に一度か二度話された。彼女は生活習慣を正すことから来る利益と祝福について、聖書の節制問題をアピールした。非常に実りある問題であり、楽しそうに熱心に提示された。彼女は聖書が最高にして最も安全な権威であると信じている人に語り、彼女の教えに反対するものは少なかった。多くのものはすぐ肉食をやめ、二食制をとり入れた。牧師達の幾人かが病気で苦しんでいたが、生活の習慣を変えてよりよい健康状態になったことを報告した。関心は非常に高まり、だんだんと着実に増えていった。」CTBH 219

質問：このプログラムは知的職業者ばかりでなく労働者にも益になりますか？

答： ジェームス・ホワイトはつづけて

「幾千の人々が、習慣を変えたために受けた益を証している。彼らは、より健康と肉体的力が増したことを報告している。肉を食べないで、第三番目の食事はしないで、する前と同じように多くの働きができるかどうかを聞いてみなさい。すっかり習慣となった彼らは、もっと多くの仕事に耐えられ、ずっとよい生活を楽しんでいることを告げるでしょう。これは知的職業者、肉体労働者、すべての人の経験である。」 CTBH 216

質問：ホワイト長老は第三食について何と言っていますか？

答： 「我々の睡眠時間は、胃も含む全身が完全に休息する期間として神は計画された。しかし第三食をとってから、すぐに寝てみなさい。消化器官は休むだろうか？…否である。他の組織は休んでも、胃の工場は入ってきた穀物を粉碎しなければならない。さもなければさらに悪い結果が生じるであろう。その主人が不完全な睡眠をむさぼっている間は、工場は働いていることになる。彼は落ち着かず寝返りをうつ。頭脳は働きすぎの胃に同情する。夢、おそらくは悪夢にうなされる。朝は胃の調子が良く感じられず、ふらふらとした感じ、臭い息、沈うつな精神、あるいは、頭痛で起きる。

何か知らないが、とがめを感じる。家事がうまく運ばれていないとなると、非常に不機嫌になる。鳥は歌うが聞こえない。輝かしい太陽はなんのその。それは毎朝6千年も変わらず同じように続いているのである。重い心持と悲しそうな表情で毎日の義務にとりかかる。」

「朝の習慣的な頭痛の言い訳はない。あなたが寝る時は外の組織と同じように、胃も休ませなさい。毎日、健康的な食事を十分とって、他のすべての習慣を節制し、正しているなら、頭痛や手の痛み、足の痛みなどはあまり聞かなくなるであろう。肉体的であろうと、知的であろうと、仕事は頭に血を押し流し、疲れた人は頭痛の状態で休みにつく。しかし、胃が第三食で重荷を負わせられなければ、そして胃が全身が

眠っている間休むことができたなら、血は頭脳から退いて、朝は痛みから解放されて、睡眠で再新され、頭の先から足の先に至るまで気持ちよく起きることができるであろう。全身が快い睡眠の回復力を感じるだけでなく、非常に貴重な道徳的利益を所有することになる。軽い胃、さわやかな頭、いさぎよい心、きれいな良心（正しく行い、あわれみを愛し、神と謙遜に歩むならば）、そして快活な精神である。その魂は言う『息のあるすべてのものよ、主をほめまつれ』と。このような人にとっては夏の夜明けはどんな気持ちよいものであろう！彼は自然の神を朝にたたえ楽しくさえずる鳥に加わり、起きるのである。喜びをもって上る太陽に会い、家族のものに愛とやさしい感情をもってあいさつする。こうして一日の義務に心身共に健康を楽しみつつ出かけて行く。そして、人生の充実した働きをする人となる。」

「多くの罪の自然の結果でこの人生が成り立っているみじめな状態は確かである。これらの罪の主なものとは暴食、特に第三食目おけるそれであるとまじめに信じている。道徳的な立場から、この罪はひどいものである。それは人を卑しくし、俗的にし、肉欲的にし、極悪非道にする。

流行に従って食べたり飲んだりすることは、人間のための食物というより、それはしばしば胃に対する乱暴をしていることになる。それは消化器官を狂わせ、道徳的、知的な力を麻ひさせ曇らせ、情欲を強め、燃え立たせる。人間の中にある神の如き者は低い本能に仕えるように低下させる。」 CTBH 216-218 ジェームス・ホワイトによる。

質問：J.N. アンドリュースは2食制についてどんな経験をしましたか？

答： 「我々は2食制を採用して、現在にいたるまで厳格に固執してきた。食卓から香辛料、こしょう、酢等をとりぞいた。バター、肉、魚もとりぞき、白粉の代りにグラハム粉を使った。しかし、我々は十分な良い果物をとるように努め、野菜と穀類にいつもミルクとごく少ない塩を使った。食事の時以外は何も食べないように厳格に守り、子供達にもこの計画に従うように教えた。しばらくの間、我々は毎日第二の食事（昼食）の前に短い休憩の時をとった。しかし、この休憩の時というのは、過去数年間は規則的に守らなかつ

た。しかし、必要な時には時々そうした。しかし、すべての大事な健康習慣には忠実に従うように努めてきた。そこで自分の場合、どんな利益があったかと言うと…

1. 食事改革をしてから、まず最初に観察したことの一つは、子供の時に持っていた、そして長い間失った、食物の味がするどくよみがえってきたことである。
2. 頭痛、めまい、はき気のようなものがなくなった。
3. 力が増し加わるのが分るまで数ヶ月経過した。こんなに大きく生活を変え、それに、第三食をぬいたにもかかわらず、変える前と同じように仕事をつづけたことは不思議であった。数ヶ月後、力が増してきたのを感じた。それがずっとつづいて今は、私の人生でかつてなかったほどのより強い力と耐久力持っていることを確信をもって言えるようになった。
4. 第三食をぬいて、直ちに、てきめん効果を表したことの一つは、朝のふらふらとした状態がまったくなくなったことである。夕食をのぞいてからというもの、毎朝食前に感じた、まるで生物が食いいるように胃をなやますような事も全くなくなってしまった。こうして私は胃は食物が不足して不平を言っているのではなく、その反対であることを発見した。胃は休むべきときに夕食を処理するため、一晩中苦労していたのである。
5. 健康的食事から来る力について私が証できることは、すなわち、普通一般の生活のしかたにあった時にしばしば苦しんだ力のぬけた、ふらふらとした感じは、現在の生き方を変えた今の自分の経験には一度もないということである。以前の3食の中1食をぬかすということより今、2食中1食をぬかすことが楽にできるのである。」
J.N. アンドリュウスの経験 CTBH 266,267

質問：2食プランは子供達にも益になるものでしょうか？

答：「子供達が母親から一番最初に受けるべき教育は、彼らの肉体的健康に関してである。彼らはただ単純な食物だけを与えられ、健康が最上の状態に保てるだけ与えられるべきである。それは規則的な時間にもみ与えられるべきである。3食以上は与えてはならない。3食よりも2食

の方が良い。子供達が正しくしつけられるなら、まもなく泣いたり、ぐずったりしないで学びとるでしょう。」

「賢明な母親は、ただ現在の安楽からでなく、将来の子供達のためを考えてしつけをほどこすであろう。そのために彼女は子供達が食欲を制するという大事なレッスンを、自制を教え、健康のために食べ、飲み、着るべきであるということを教えるであろう。」 HOW TO LIVE 2-47, HL146

質問：子供達が2食プランでいけるようにどんな勧告が両親に与えられていますか？

答：「あなたがたの子供達は、食間、キャンディー、果物、ナッツ、どんな種類の食物であっても食べさせてはならない。3食より2食の方が良い。もし親が模範を示し、原則によって動くなら、子供達はまもなく、ついてくるであろう。」
DF228,229

質問：ホワイト夫人自身は自分の子供達にどうしましたか？

答：「12年以上も私達は単純な、刺激のない食事、毎日2食をしてきた。3才から13才までと異なった年齢の子供達をいつも世話していた時、だんだんと注意深く、3食の習慣から2食に変えるよう努力した。そして刺激的な食事、-肉や濃いグレービー、パイ、ケーキ、バター、香辛料等を単純な、健康的な果物、野菜や穀類に変えていくのに注意深くした。結果は、自分達の子供達は、幾分子供がかかるいろいろな病気で悩まされなかった。時々風邪をひくこともあったが、めったに病気にさせなかった。」

「他の人々のために用意された食事を見せられたとき、ひもじいと思う傾向があるが、しかし、たいいてい第3食を欲しいと考えない。このように育てられた子供達は食欲のまま何でも食べるままにさせている子供達より、たやすくコントロールできる。彼らはたいいてい快活で、満足して、健康的である。最も頑固な、怒りっぽい、わがままなものでも、服従し、忍耐強く、このような食事法に従って自制するようになる。すると固く原則に立って、他の事がらにも固く、しか

も、やさしいとりあつかいするようになった。」
E.G. ホワイト Health Reformer,S-1877

質問： やせている人、ふとっている人も二食プランを始めてみることは良いことでしょうか？

答： ジェームス・ホワイトが2食制をとり入れた時の経験：

「過去3年間、肉食をやめ、一日2食をしてきた。重労働をし、あまり多くの人のしない、絶えまない働きをしてきて、134ポンドから180ポンドに増えた。」CTBH（ホワイト長老が非常に体重が減っていたのは大きな病気をしたためであった。）

ホワイト夫人が二食しはじめた時の経験：

「私は8カ月間一日二食で生きてきた。8カ月の中に25ポンドの肉を失った（1ポンドは453.6グラム）。ない方がすっきりして気持ちがいい。以前よりもずっと力を感じる。」Spiritual Gifts,4-154

質問： 牧師達の食習慣についてどんな勧告がなされていますか？

答： 「我が教会の説教者達は、彼らの食習慣についてあまり几帳面でない。彼らは多くの量を取りすぎ、一食事にあまりに多種類のものを食べる。ある人は名前だけの（健康）改革者である。彼らの食事を制するルールがない。食間に果物やナッツをほしいままに食べ、消化器官にあまりにも重荷を負わせすぎる。ある人は肉体的、霊的健康のために2食のほうが好ましいのに一日3食する。肉体の組織を支配している神の法則を犯すと、必ず罰がついてくるであろう。」DF140,141

質問： 我々のサニタリウムの患者を2食プログラムにおく勧告が与えられているのですか？

答： 「食事の問題に関して、押しつけているような

感じを与えないように、知恵をもって扱わなければならない。3食よりは2食が健康に良いことを示すべきである。しかし、権威をもって押しつけていると思わせてはならない。サニタリウムに関係している誰であっても、二食制をとり入れるように強制されてはならない。押しつけより、説得がもっと適切である。」

「日がだんだん短くなっている。この問題を提示するのに良い時である。日が短くなるにつれ、昼食を少し遅くすると、第三食は必要と感じられなくなるであろう。」DF177

「第三の食事に関してであるが、二食を強制的にしてはならない。ある人は三食している時に最善の健康状態であるのに、2食に制限されると、その変化をきびしすぎると感じる。」DF178

「食事の時間は患者か、この機関の責任者は、彼らの慰めと健康のために働いている人だと感じるように考慮されるべきである。そうするとき、彼らがサニタリウムを去るとき、偏見を持って去って行くことはないであろう。患者に、食事の時間は不変の法則をもって定められているのだという印象をどんな場合でも与えてはならない。サニタリウムで第三の食事を除いてから人々が機関から去るようになったら、あなたの義務は明らかである。我々は、ある人は2食だけで健康であるし、ある人は各食事に軽く食べ、夕方に何か食べるものを必要と感じる人がいる、ということ覚えなければならない。筋肉の力に必要なだけ十分食べなければならない。食べる食物から、我々の精神も力を得るのである。我がサニタリウムの働き人は、健康食の価値を示すことが医事伝道の一部であることをおぼえなければならない。我々のサニタリウムではお茶、コーヒー、肉をセーブしないことは正しいことである。多くの人にとってこれは大変化であり、惜しい損失と思われる。それに他の変化を押しつけ、食事の数を変えるような押しつけは、よい事より悪い害をある人にはもたらさずであろう。」DF282,283

MM284には次のような手紙がつづく。

「夕食が最も楽しい時であるという人々が多い。彼らにとって一日の働きがすんで、全家族が交わりのために食事を囲んで集まる。」

「3食より2食の方が良い事は明らかである。私はそれを信じ、実行している。しかし、『主はこう言われる』-ある人は第三の食事をとることは

まちがいである - ということはない。我々は規則の数々にしばられるパリサイ人のようになってはならない。パリサイ人のように規則に規則をつくり、人の教えを教理として教えてはならない。」 MM284

「この機関に結ばれている者は、患者がいる立場で会うように神は望んでおられることを覚えなければならない。我々は神の手となって今日の真理を提示し、助けなければならない。そして、サンタリウムに病人としてゲストとして来ている人たちの習慣や風習を不必要に干渉してはならない。これらの多くの人々はこの片田舎に数週間しかいない。短期間、食事の時間を変えることを強いるならば、非常な不便を彼らに与えることになる。そうするならば、あなたは試してみたら、まちがっていたことを発見するであろう。病人の習慣をできるだけ学んで、変えることによって特別に得るものがなければ、変えることを彼らに要求してはならない。」

「機関の雰囲気は快活で家庭的で、できるだけ社会的でなければならない。治療に来る人たちは、くつろぐようにさせなければならない。食事に関する急激な変え方は、彼らの精神を落ちつかせない。彼らの習慣を妨害する結果、不快な感じが起こってくる。彼らの心はかき乱され、それが不自然な状態をもたらす、こうして他では得られない祝福を受け損じてしまう。彼らの習慣を変える必要がある時、不快よりも祝福として彼らが見るように、注意深く、楽しくしなさい。」

質問：健康改革に関して主が光をお与えになって数年のうちに、どんな悲しい状態になりましたか？

答：「健康改革への大難点は、この民はそれを生活に移す事が出来ないことである。それでいて彼らは健康改革を実践すること、そして力を保つことができないと心配そうに言う。」

「何故健康改革の生活ができないかの良い理由を、どんな場合でも見つける。彼らは生活に移さず、厳格に決して従おうとしてこなかった。だから、それによって利益を受けることができなかったのである。」 2T486

「働きの中核の人々によって、この大事な問題に

対する驚くべき無関心が表されてきた。健康改革の原則に関する永続性に欠けていることは、彼らの品性と霊的力のほんとうの品性の指針である。」 2T487

質問：1888年まで、まだわずかの人々のみが2食プログラムをとり入れていたように見える。ホワイト夫人はその年のキャンプ・ミーティングで、どのような提案をしましたか？

答：「集会は進んでいたが、キッチンで働いていた人たちには少しの特権が与えられたので、私の心に、一体そのままつづいていいたろうかという質問がうかんできた。料理して、皿洗いして、また料理してと一日の中にそんなにしてまで三食する必要があるだろうか？我々はこのために集会の特権がうばわれている人達のために話した。そこで三食目をぬかすことによって、自己犠牲を分かち合うようにキャンプの人々に提案した。それは認められて、それ以来二食分が留意され、働き人は非常に楽になった。」

「霊的力を与える霊の食物に対する飢えが起こるであろう。我々は質素な単純な食事だからと言って不平は言わない。キャンプには20年間2食しかしないで3食していた人より良い健康を楽しんできた人々が数人いた。」 セルマ・カリフォルニアのキャンプ・ミーティング RH 6-26,1888

質問：ホワイト夫人はどうして健康改革をとり入れましたか？

答：「私は原則からこれらのことをのぞいた。原則から健康改革に立ったのである。それ以来、私は健康改革の極端な進み方をして退いたことはない。私は今日立っている以上に出すぎたことはなにもなかった。」 DF484

「私がしているような働きに耐えている婦人は100人に1人もいないであろう。私は原則から行動しているのであって、衝動によってではない。私は最善の健康の状態にするために、あることを信じているから行動しているのである。」 DF484

質問：健康改革の光はどのように来たのでしょうか？

答：「健康改革の問題に関して、私は主から光を受けたのである。私がそれを求めたのではなかった。それを勉強したのではなかった。他人に与えるために、主が私に与えられたのである。」
DF493

科学者の証言

1. 「…食物を消化吸収する能力は朝の時間がより優れているので、朝食と昼食を一日の主な食事とすべきである。」 Wohl Goodhart, Modern Nutrition in Health & Disease 948p
2. 「良い朝食をとろうと思うなら、夕食は軽くするか、又はぬくかすると良い。」 Food, Department of Agriguture Year Book 323,
3. 「労働者は十分な朝食をとった時がもっと仕事の能率を上げた。途中スナックを加えても何の利点も与えなかった。」 J, Am, Diet, Ass' 37:137-140 8-1960
4. 「夕食か寝る前に何かを食べることが、虫歯の発生を高くする原因となる。」 ウイリアムソン博士． イギリス、ブラックプール Dental Survey,4-1961 p476

ご自宅で聖書研究ができます

毎週の説教動画、セミナー等更新中。
無料書籍も閲覧可能です。
ぜひご活用ください！

サンライズミニストリー

検索



ウェブサイト

www.sunriseministry.com

YouTube

Sunrise Ministry | Youtube Channel

<https://www.youtube.com/@sunriseministry>



体内電流の循環

金城重博

E.G. ホワイトは真の健康について、次のような天からのメッセージを与えている：

食事と食物への勧告 280 # 451 「癒しの業を行う方法は多くあるが、天が是認する方法は一つだけである。……新鮮な空気、日光、節制、休養、運動、正しい食事、水の使用、そして神への信頼、これが真の療法である」。ミニストリー・オブ・ヒーリング 95

この健康の法則の絵を見て頂きたい。我々は、ニュースタートとしてE.G. ホワイトの次の言葉を引用する：下の図は、筆者が証の書を読んでまとめたものである。E.G. ホワイトは、これが「真の療法」であると言っている。普通は「真の原則」あるいは「法則」と言っている。ニュースタートは、N=栄養、E=運動、W=水、S=日光、T=節制、A=空気、R=休息、T=信頼から **NEWSTART** と有名なプログラムとなって、普及するようになった。



中心に「血液」と「体電気」とあるが、「完全な健康は、完全な循環にかかっている」。健やかな生き方 29

1. 血液の循環

ミニストーリー・オブ・ヒーリング 247 「血液は生命の流れであるから、健康を保つには良い血液が必要である。それは消耗した組織を回復し、身体に栄養を与える。血液が正しい栄養素を供給され、新鮮な空気によって浄化されて活力を与えられると、それは身体の各部分に生命と活力をもたらす。血液の循環が完全であれば、それだけその働きはよくあらわれるのである。

心臓が鼓動するごとに血液ははやく、らくに全身に流れなければならない。その循環が、窮屈な被服、またはかたい帯などのため、あるいは手足の先を十分におおわずにいるため、妨げられたりしてはならない。循環を妨害するものがあると血液は重要器官に押し返され、そこに充血を起す。その結果として、頭痛、せき、心悸亢進、あるいは消化障害などがしばしば起る」。良い血液は、良い食べ物、水、日光、空気によってつくられる。しかし、どんなに良い血液であっても良く循環しなければならない。良い循環は、運動、休息、水、新鮮な空気、日光、信頼(心の持ち方)にかかっている。これらのことは、すごい科学であることが分かっている。

今回は、あまり取扱われないテーマ、心の持ち方と体の中の電流の循環について考えてみよう。

人間の頭脳について エレン .G. ホワイトは次のように表現している：

健やかな生き方 # 821. 「頭脳は身体の中心であり、すべての神経の力と精神活動の中樞である。脳から続いている神経は、身体をコントロールしている。脳神経によって、精神的印象が身体の全神経に電線のように伝達される。脳神経は全身の生命活動をつかさどっている。全器官の動作は、脳から受ける伝達によって管理されている」。

健やかな生き方 # 834. 「脳は全人の要塞(とりで)である。衣食、また睡眠における悪習慣は、脳に影響を及ぼし、学生が望むような優れた頭脳の鍛錬を受ける邪魔をする。身体の中のどの部分であっても、配



慮をもって扱われなければ、その損傷を脳に伝達するであろう」。※要塞=外敵の攻撃を防ぐための建造物

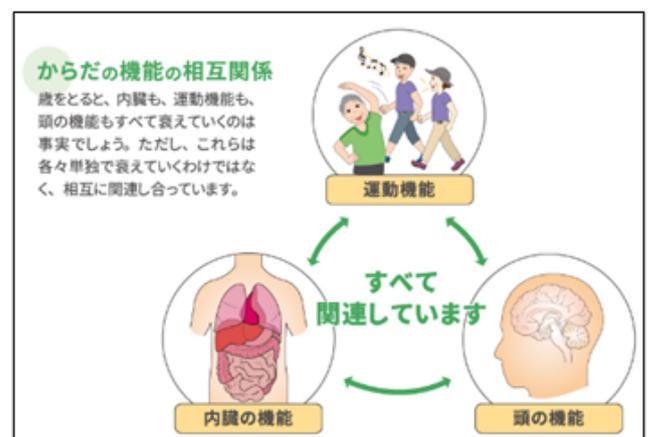
健やかな生き方 # 823. 「全身と通信している脳神経は、天が人と交わる唯一の媒介であり、人の心の奥深い部分に作用する。神経系の電気の流れを妨げるものは何であっても、活力を弱め、精神の敏感さを失わせる。— 2T. 347 ページ

教育 248-1869 年 「身体の運動不足は、知力ばかりでなく、道徳的な能力まで低下させる。身体の組織全体を連結している脳神経を仲介として天と人との交際が行なわれ、魂の感動が与えられるのである。神経組織の感応電流の循環が妨げられて、活力が弱くなり、知的感受性がにぶくなるときに、霊性の目ざめはいっそう困難になる」。

その前の段落にはこう書かれている：

「始終本ばかり読みふけている者は、しまいには頭脳の新鮮さが失われてしまう。身体の発育に適当に注意する者は、全時間を勉学だけに費やすよりもはるかに学問的に大きな進歩をする。

一つのことだけを、もっぱら思索ばかりしている人は、頭脳のバランスが失われることがある。しか





し、知力と体力に平等に負担を負わせ、思考の問題に変化をあたえれば、どの能力も無理なく働かされることになる。…

正しい生活は正しい物の考え方によって決まるといふこと、そしてまた肉体の活動は純潔な考え方にとって必要欠くことのできないものであるということ、生徒たちに教えるべきである」。

教育 234(1869年) 「肉体が精神に及ぼす影響はもちろん、精神が肉体に及ぼす影響も強調されなければならない。知的な活動によって促される頭脳の電力は、身体の全部に生気をあたえ、病気に対する抵抗を測り知れないほど助ける。このことを明らかにしなければならない。

健康を保つにも回復するにも、意志力と克己がたいせつであること、すなわち、怒りや不満や利己心や不純な心は健康を低下させるばかりでなく、破滅的な影響さえあたえ、これに反して快活、無我、感謝の心には生命を与えるおどろくべき力があるということ、明らかにしなければならない」。

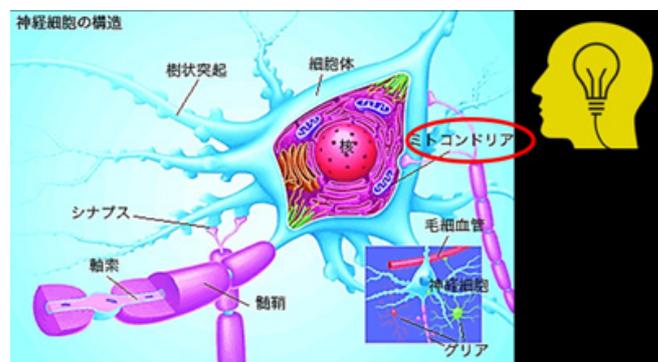
<https://beauty.hotpepper.jp/kr/slnH000518380/blog/bidA041056007.html>



「筋膜リリースで自分の身体に元々備わっている自己治癒力、免疫力を引き出し、コロナに負けない健康な身体づくりをしていきます！特に肺まわりを施術すると、深く呼吸がしやすくなり肺機能が活性化された感覚が伝わってきます！

本来の自然治癒力の働きを阻害する酸化物質や老廃物、迷走電流を体外へ排出するのを促し、体内を流れる『生体電流』のバランスを整える施術器具なのですが、細胞内のミトコンドリアに直接働きかけることで、活性化を促します。

あらゆる不調の原因はミトコンドリアの不調と言われています。ミトコンドリアは生体電流の発電所



とも言われ、生命活動に欠かせない ATP (アデノシン三リン酸) というエネルギーを製造しています」。

脳の電気－思考すること

次世代 223 「肉体労働だけを行ってその他のことは考えず、他人に任せ、他の人々が考え計画したことを行うだけの人々は、筋肉の強さは増加しますが、知的には弱くなります。その場合の彼らの善に対する影響力は、頭脳を筋肉と同じように活動させた場合に得られる影響力と比較するならば小さいものでしかありません。彼らは、病気に抵抗する脳からの電気の力が身体組織の全体に活力を与えていないために、病気の攻撃を受けると急速に倒れやすくなります。身体的に健康な人々は、身体を動かすのと同じように頭脳で考えて他人の頭脳に依存しないように、自分自身を訓練する必要があります」。

健やかな生き方 46 「後者の人たちは知性を働かせない。筋肉は運動しているが、彼らの頭脳からは知力が奪われている。それはちょうど、考えてばかりいる人たちが、筋肉を運動させるのを怠ることで、体力と活力を奪われるようなものである。肉体労働に一生を捧げることに満足し、他の人たちに思考を委ねている者たちは、単に他人の頭脳が計画したことを遂行しているに過ぎない。彼らの筋力は強まるだろうが、知力は貧弱なものとなるであろう。この種の人たちは、病気に襲われると、よりたやすく寝込んでしまう。なぜなら、病気に抵抗するために、組織が脳の電力によって活力を与えられていないからである」。

★困難な問題と対決することを怠ると心(mind)は委縮する。

あけぼの下 259 「人間の心は、考えるように訓練された問題に、次第に順応してくるものである。ただありふれたつまらぬことだけを考えていると、心は、萎縮して衰弱する。困難な問題と取り組むことが全然なければ、しばらくするうちに、成長する力をほとんど失ってしまう。教育する力として、聖書に匹敵するものはない。心は、神のことばの中に最も深遠な思想と最も崇高な熱望の主題を見いだす」。



健やかな生き方 66 「人生の最高の目的を肉体労働に置いている、別の人たちがいる。この種の人たちは、知能を働かせない。彼らの筋肉は運動するが、脳からは知力が奪われていく。

…この種の人たちは、病気に襲われると、より急激に崩れてしまう。なぜなら、身体が、病気に抵抗する脳の電力によって活力を与えられていないからである」。



心の持ち方：

体電を消耗させる心の持ち方

1. 怒り、短気、いらだち、
2. 不満、不快、つぶやき
3. 悲嘆
4. 興奮過剰
5. 思い煩い、憂慮
6. 恐怖
7. 悔恨、自責
8. 罪意識
9. 利己主義、自己中心

健やかな生き方 66 「心身の病気をもたらすものは、ほとんどすべての場合、不満の感情と愚痴をこぼすことによるのである」

ミニストリー・オブ・ヒーリング 218 「人間が苦しむ病気の多くは心の消沈によるものである」。



健やかな生き方 224 「心の病気が至る所にはびこっている。人が苦しむ病気の九割は、ここに起因する。恐らく、現存するいくつかの家庭内紛争が、潰瘍のように魂をむしばみ、生命力を弱らせている。時には罪に対する自責の念が、体質を徐々に衰えさせ、心の平衡を崩すのである。現在直面している家庭の悩みが潰瘍のように魂の真髄をむしばみ、生きる力を衰えさせていることが多い。時には良心の呵責が身体を消耗させ、精神を動揺させることもある」。

食事と食物への勧告# 74。「牧師は他のすべての人々にも増して脳と神経の力を節約しなければならない。神経を刺激し、興奮させる傾向のあるすべての飲食物を避けるべきである。興奮した後は抑圧状態が起こり、過度の不節制が頭脳を曇らせ、思考を困難にし、混乱させる。誰でも食事の習慣で厳格な節制を守るまでは、霊的なことで成功する働き人にはなれない。健康的な食事の仕方を知りながら、なお心身を弱めるような習慣を続ける人々に、神の霊は宿ることがおできにならないのである」。

充電する心の持ち方

1. 快活
2. 勇気
3. 希望
4. 信仰、信頼
5. 幸福感
6. 感謝と讚美
7. 無我
8. 喜び
9. 良いことしたという満足感
10. 無私の奉仕



すこやかな生き方 44 頁 # 176。「神は人に非常に強い活力を与えられたので、人は、歪められた習慣の結果、人類に蓄積されてきた病に耐えてきた。それが六千年間続いてきたのである。…もしアダムが造られたときに、現代人の二十倍もの活力を与えていなければ、自然の法則に違反している現在の生活習慣をもってしては、人類はとうに絶滅していたであろう」。— 3T. 138, 139

「感謝と賛美の精神ほど心身の健康を増進するものはない。憂鬱、不満な気持や思想に抵抗することは祈ることと同じように積極的な義務である。もしわたしたちが天に向かって歩いて行っているなら、わたしたちの父の家に行く道すがらをどうして会葬者の一隊のように嘆き、つぶやきながら歩いたりできよう」。ミニストリー・オブ・ヒーリング 228

ピリピ 4:8 最後に、兄弟たちよ。すべて①真実なこと、すべて②尊ぶべきこと、すべて③正しいこと、

すべて④純真なこと（清いこと＝新改訳）すべて⑤愛すべきこと、すべて⑥ほまれあること（評判の良いこと）、また⑦徳といわれられるもの、⑧称賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめなさい。

生体電流を誤用するサタンの癒しに注意：

体に電流を流すことで筋肉を動かし、痛みの緩和や疲労回復、血行の促進などが図られることはよく知られています。サタンもこの「電流」を誤用した治療法を生み出していることに気をつけなければならない。

伝道 382 「これらの悪魔の手先は、病気を治すと主張する。彼らは、その力を電気や磁気、あるいはいわゆる『交感神経療法』に求めているが、実際はサタンの電流の通路にすぎない。この手段によって、彼は人の肉体と魂に魔法をかけるのである」。-- サインズ・オブ・ザ・タイムス、1887年3月24日。{伝道 609.1}

伝道 378 「ほぼすべての心靈主義の教師たちは病人をいやす力を持っていると主張します。彼らはその力を電気や磁気、いわゆる『交感療法』、あるいは人間の心にある潜在力に帰します。このキリスト教時代にあってさえ、生ける神の力や資格を持ったクリスチャンの医師の技術に信頼しないで、このような治療者のもとに行く人が少なくありません」。

人間、イエス・キリストの完全な健康の秘訣は？

イエスは、遺伝という大法則の作用の結果をお受けになり、四千年にわたる罪によって弱くなっていた時に人性をおとりになった。私たちと同じ弱い人間であった。しかし、どうして罪に勝利し、人びとを救い、あれだけの奉仕をし、全世界に最も影響を及ぼしたか？ 彼は自分自身から何一つできないことを知って天父に一瞬一瞬頼られた。

彼の力の源はどこにあったのだろうか？ 2 希望 101 に興味深いことが書かれている：

「キリストを通して、人類の叫びは限りなくあわれみ深い天父に達した。人としてキリストは、人性

と神性とを結合する天来の電流によって、ご自分の人性が充電されるまで、神のみ座に嘆願された。世の人々にいのちを与えるために、イエスはたえまな
いまじわりを通して神からいのちを受けられた。イエスの経験がわれわれの経験となるのである」。

12年間も長血を患っていた女が、イエスのみ衣に触りさえすれば癒されると信じて群衆をかき分けて



イエスに近づき、誰にも知られないようにとその衣に触った時のことを、E.G. ホワイトは次のように書いている：

ミニストリー・オブ・ヒーリング 35 「彼女は手をのばしてやっとそのみ衣のすそにふれた。そのとたんに彼女は自分がいやされたことを知った。その一触には彼女の命がけの信仰が集中されていたので、直ちに彼女の痛みも病弱も消えてしまった。その瞬間彼女は、ちょうど電流がからだのすみずみまで通ったかのように感じ、完全な健康を感じたのである。『病気がなおったことを、その身に感じた』(マルコ 5 : 29)」。

注目!!! ダニエル書と黙示録の学び直し

聖霊に導かれて 136 (牧師への勧告 113) : 「民としてこの書の意味することを理解するとき、我々の間に大リバイバル (great revival) が見られるであろう。我々はまだ十分にその教える教訓を理解していません。...

137 : この書物の真理は、終末時代に住んでいる人々に宛てられたものです」。

※従来の解釈は7つの封印、7つのラッパを過去に適用してきた。その時代の教会を覚醒させるためにそれなりの役割を果たしてきた。しかし、第一義的には終末時代の適用でなければならない。

セレクトッド・メッセージ #3-426 スタディーバイブル新 592 「ハルマゲドンの戦いがまもなく戦われる。…我々の前に厳粛な諸事件がこれから起こる。次々とラッパが吹き鳴らされる。地上の住民に次々と鉢 (7つの災害) が注がれる。非常に重大な出来事が我々のすぐそばにきている。」 1890年, Letter 109

聖霊に導かれて 135 : 「ダニエル書と黙示録がよりよく理解されるならば、信者たちは全く異なる宗教経験を持つようになるでしょう」。

聖霊に導かれて 140 : 「不法の者の悪を暴露するために、主は彼ら (SDA) を召されました」。

聖霊に導かれて 141 : 「もし私たちの民が半分でも目覚めており、黙示録に描かれた出来事に迫っていると自覚しているならば、①私たちの教会の中に改革が起こり、②もっと多くの人々がこのメッセージを信じるようになるでしょう」。

ファルメキア ～黙示録のまじないとは？

2023年1月28日のオンラインセミナーの記録

講師：ビル・ヒューズ牧師
通訳：砂川 満

はじめに

金城：Good morning、ヒューズ牧師。そして、こんばんは、日本の皆さん。ヒューズ先生（アメリカ）は朝の4時、我々（日本）は夜6時ですね。本当に、このセミナーを感謝しています。

昨日のZoomセミナーでは、とても素晴らしい情報を頂きました（1月27日「新型コロナ武漢とカトリックのつながり」）。いかに危機的な状況に私たち霊的イスラエルは直面してるか、そして、このことを世に知らさなければならぬのですが、ペリシテ人との戦いでイスラエル人は後退してガタガタ震えているような状態の中で、ビル・ヒューズ先生は勇敢に真実を伝えておられることを、本当に感謝したいと思います。昨夜、コロナと武漢とカトリックの関係について、初めて聞きました。あらゆる方法を通して新世界秩序を作ろうとしていること、もう非常に間近に迫っていると思います。

今夜で最後の講義になりますが、「ファルメキア～黙示録のまじないとは？」という題です。どんな話が出るか楽しみです。それでは、お祈りしてから始めましょう。

天にまします、お父様。この地上において、いろんな騒がしい危機的なことが起こっておりますが、確実な預言を通し諸事件について解説して下さる方々がいらっしゃることを本当に感謝します。私たちは霊的イスラエル人としてペリシテ人との戦いにおいてダビデのように強くなれるように、どうぞ一人ひとりをその場所でお用いくださいますようお願いいたします。このメッセージが至る所に津々浦々に伝わって、来たるべき大危機に備えさせてく

ださい。聖霊のご臨在をお願いし、主イエスの御名によって、お祈りいたします。アメン。

コロナ危機は日曜遵守令への布石 ～「各時代の争闘」のお薦め

ヒューズ先生：

こうして、また皆さんと共に過ごせることを感謝しています。今からスライドの学びに入っていく前に、暫く考えていただきたいことが一つあります。

3年前、新型コロナのパンデミックが始まりました。以来、世界中の人々が困難に陥れられて、実際に新型コロナにかかった方もいると思いますし、私自身もコロナにかかりました。この新型コロナは実在する病気であり、その病によって亡くなる人たちがいるのも事実です。しかしながら新型コロナは、この世界から人民の自由を剥奪するための道具として用いられているものなのです。コロナ問題が始まって間もなく、アメリカにおいて教会が閉鎖されて、自由に安息日に教会に行けなくなってしまいました。職場でも通勤が制限されて、行動や良心の自由が本当に文字通り奪われてしまったのです。聖書の預言を知っている者として終末時代に私たちの自由が脅かされる出来事が起こると預言されていますが、そこに向けて、この新型コロナは大きな役割を果たしたと思われるのです。

このコロナ危機を通じて、速やかに日曜遵守令の危機へと展開していく可能性を、皆さん理解できるでしょうか？ アンソニー・ファウチと中国の武

漢との癒着を通じて作り上げられたこの世界危機によって、聖書で預言されている更なる危機的状況へと向かっていることが垣間見えるわけです。更なる危機はもう起こらないという報道を何でもかんでも鵜呑みにして、今起きていることの真の意味を理解できない鈍い心の持ち主になってはいないでしょうか？ 世界的な重大な何らかの事件・危機的状況を経て日曜遵守令に至ると考えていますよね？もちろん、そのような展開になっていくことでしょう。各時代の争闘の光に照らしてみると、今回のパンデミックはそれ以下のものではないと私たちは確信できると思います。

3年前に始まったパンデミックにおいて、この危機にあって、セブンスデー・アドベンチスト教会は何処にいたのでしょうか？ どういう役割を果たしたのでしょうか？ 残念なことにセブンスデー・アドベンチストの教団は、パンデミックの始まりから現在に至るまでずっと政府の言いなりになって行動したにすぎません。そういった流れを踏まえて、実際に日曜遵守令が起こった時に教団はどうすると思われませんか？ セブンスデー・アドベンチストに属する大多数の人たちが、この日曜遵守令という危機



を絶対的な真理として受け入れることでしょう。どうして、そういう風になっていくのでしょうか？ 「各時代の争闘」を読まないからです。皆さんは個人的に「各時代の争闘」を読んでおられるでしょうか？ ぜひ本棚から取り出して読んでください。

ファルメキア ～ まじない(魔術)

「また、おまえの中では、あかりもともされず、花婿、花嫁の声も聞かれない。というのは、おまえの商人たちは地上で勢力を張る者となり、すべての国民はおまえのまじないでだまされ、また、預言者や聖徒の血、さらに、地上で殺されたすべての者の血が、この都で流されたからである」。黙示録 18:23、24

ファルメキア Pharmekia pharmacy



黙示録 18:23 の「まじない(魔術)」という単語は、ギリシャ語の「ファルメキア (Pharmekia)」に由来し、薬・医薬品・ワクチンなどを意味します。この聖句は、時の終わりに、大いなるバビロンすなわち法王制が薬物を使って人類を支配し奴隷にし、彼らの権威の印である日曜日を受け入れるようにすると宣言しているのです。

新型コロナと呼ばれる現在の危機とワクチンに、ローマが関与している可能性はないでしょうか？

ローマ法王庁が、世界的な人類の買収と奴隷化の前ぶれとして、彼らの代理人アンソニー・ファウチを通して、この危機を仕組んだということなのです。昨晚の学びを踏まえると、こう断言することができます。昨晚も学びましたし、黙示録 18 章 23・24 節を見れば明らかです。バチカン、アンソニー・ファウチという代理人を使って、このパンデミックを世界中に拡大させました。そのことも見ていきましょう。

WHO(世界保健機関)と CDC(アメリカ疾病予防管理センター)

世界を牛耳って自由を人民から奪うというもくろみに関与したのは、もちろんファウチだけではありませんでした。この3年間、WHOからの声明も多く聞こえてきましたね。そもそも WHO がいつどのように設立されたのか、見ていきましょう。



「WHOは1948年にロックフェラー家の財団によって設立された。その2年後、ロックフェラー財団は、アメリカ政府の国立科学財団、国立衛生研究所、そして国の公衆衛生局を設立した」。

レナード・ホロヴィッツ博士の宣誓供述書、世界に大量殺戮を意図した詐欺を主張、2009年より引用、チェリス・クロニクル2009年12月号より引用

WHO世界保健機関を筆頭に、ありとあらゆる健康に関する組織機関の設立当初から資金援助をしていたのがロックフェラー財団だということが、はっきり分かっています。

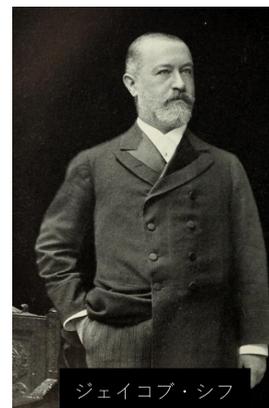
黙示録18章12～15節が私たちに教えているのは、ロックフェラーは、まぎれもなく黙示録18章で述べられている「地上の商人たち」の一人であって、そしてロックフェラーがバチカンにコントロールされているのは明らかです。WHOをはじめとする世界中の保健機関の目的は、実は大量殺戮であり、世界人口削減なのです。

ロックフェラーのうしろだては誰？

ニューエイジ・イルミナティに関して書かれた本からの引用です。

「慈善事業を隠れ蓑にしてイルミナティ世界政府の活動を行ったジェイコブ・シフは、アメリカを無政府状態へと導くアルバート・パイクの最も重要な後継者の一人となった。レーニンが先に述べたように、共産主義者の最初の目標の一つは、世界のすべての通貨制度を支配することである。そして、これ

がジェイコブ・シフの最初の業績となるのであった」。—ウィリアム・サットン『ニューエイジ運動とイルミナティ666』宗教知識研究所、234頁、235頁



ジェイコブ・シフ

共産主義の目的の一つは世界中の金融機関を牛耳ることであり、ジェイコブ・シフという人物が実にそれをなし遂げました。このように、イエズス会＝ロスチャイルドが南北戦争の終わりにジェイコブ・シフをアメリカに送り込み、合衆国政府が中央銀行の制度に抵抗できない基礎を築き、アメリカの金融システムを支配するように仕向けたことがわかります。

シフはイエズス会・ロスチャイルドの資金を使って、J・P・モルガン、ジョン・D・ロックフェラー、エドワード・ハリマン、アンドリュー・カーネギーに資金を提供しました。この4人が所有する会社を通じて、海運・エネルギー・石油・運輸・鉄道・輸出入・鉄鋼とその関連事業が絡んでくることになります。この4人の金融界の巨人たちが、さらに多くの事業に手を広げていったのです。1900年までにシフが獲得した財力は、まさに桁外れでした！

そしてジェイコブ・シフがアメリカ合衆国において多額の資金援助をした一族の一つが、ロックフェラー一族でした。ロックフェラー一族は、シフからの資金援助によってアメリカの国内の多くの企業を牛耳るに至ったのですが、その中でも特に医療機関をロックフェラー財団一族が支配するようになりました。

イエズス会 / ロスチャイルド / ロックフェラー / 医療体制

これからカトリック・イエズス会が、いかにロスチャイルドに通じているかを見ていきたいと思います。

「ロスチャイルド家がユダヤ人の重要な家系であ

イエズス会とジョージタウン大学



Convention of the American Association of Jesuit Seminarians (Eastern States Division), held at Georgetown University, Washington, D. C., September 2, 3, 4, 1947.

ることを知っていたので、ユダヤ民族百科事典で調べてみると、彼らは『バチカン財務省の守護者』という肩書きをもっていることがわかった。ロスチャイルドの登用によって、法王制は絶対的な財務上のプライバシーと機密性を手に入れたのである。正統派ユダヤ人の一族に、ローマ・カトリック教会の富の鍵を探させる人間がいるだろうか？

F・タッパー・ソーシー『悪の支配者たち』オスプレイブックメーカー、160、161 ページ

イエズス会がいかにロスチャイルドに働きかけてアメリカ国内のロックフェラーやモルガンのような一族に資金援助をしていたか…ですが、様々な企業をいわゆるビジネス用途に用いただけでなくて、これら多額の資金援助をもってアメリカ国内そして世界中の保健機関を支配するに至りました。ですから WHO がどのような声明を出そうと、その言葉に世界中の保健機関が右へならえするのです。そして3年前にローマ・カトリックとイエズス会は、こういった WHO 筆頭の世界中の保健機関を通じて、私たちにどのようなメッセージを語ったのでしょうか？

「教会に行っちゃいけません。もう仕事にも行かないようにしましょう。ステイホーム！家に留まっています」というメッセージが世界中に流されました。「そういった自由を我慢しなさい。明け渡しなさい。そうすれば安全でいられるから」ということでしたね。そして、この病を克服する最終的な答えが「皆がワクチン接種を受けなければならない」というメッセージでした。

そういったことを私たちに指示したのは、一体誰なんでしょう？

WHO には、そもそもロックフェラーの後ろ盾・資金援助があり、ロックフェラーに資金援助したのがイエズス会・ロスチャイルドでした。ですから、そういったルートをさかのぼって、いったい誰がそのようなメッセージや指示を私たちに与えたのでしょうか？ 3年前の危機において、プロテスタント宗教改革によって世界中の人民が享受するに至ったありとあらゆる自由を剥奪したいと望んでいるローマのトップの連中によって、実はこのようなメッセージが発せられたわけです。

この危機において、自称神の民からのプロテスト＝抗議の声が聞かれたのでしょうか？ 終始、沈黙を保ったままでした。買収されてしまっているからなんです。教団が沈黙するには理由があって、実は7500万ドル（日本円にして100億超）もの多額の資金がセブンスデー・アドベンチスト教団に流れていたからです。ですから、この新型コロナ危機においても、ローマのトップの人たちの指示通りに教団も動くしかなかったんです。

彼らの目的

「改革事業の最初の勝利は過ぎ、ローマはその全滅を期して新たな勢力を奮い起こした。このとき、法王教の全闘士中、最も残酷で無法で強力なイエズス会が創設された。彼らは、世俗のきずなや人間関係から切り離され、人情も理性も良心もいっさいを無視して、彼らの会以外のどんな規則もきずなも認めず、ただ、その権力を伸張することだけを義務とした。キリストの福音は、その信者たちに、危険を冒し、苦難に耐え、寒さ、飢え、労苦、貧困にもめげず、真理の旗をかかげ、拷問も投獄も火刑も恐れぬ力を与えてきた。この勢力に対抗するために、イエズス会は、その会員を狂信的にさせ、同様の危険に耐えるように、またあらゆる欺瞞の武器をもって真理の力に対抗するようにさせた。彼らはどんな犯罪を犯しても罪にならず、どんな欺瞞を行ってもかまわず、どんな偽装もわけなくできた。彼らは、一生の間貧困と質素な生活を送ることを誓ったが、その目的とするところは、富と権力の獲得であり、プロテスタント主義をくつがえし、法王至上権を獲得することであった。彼らは、会の会員として活動

するときは聖衣をまとい、牢獄や病院を訪ねて病人や貧者に奉仕し、世俗を捨てたことを公言し、よい働きをしながら巡回されたイエスの清い名を帯びていた。しかし、この潔白な外観のかげに、しばしば、極悪非道な目的が隠されていた。目的は手段を正当化するというのが、会の基本原則であった。この規定によって、虚偽、盗み、偽証、暗殺などは、教会のために役立つならば許されるだけでなく、賞賛すべきものであった」。各時代の争闘 293 - 294 ページ

私たちが仕事や学校に行く自由・思い通りの職業に就く自由などは、神様から私たちに与えられ享受している自由なんです。プロテスタント改革によって世界の人々に与えられた自由を奪い無きものにするところこそが、イエズス会の望みなのです。この新型コロナ危機の間、主に WHO を通じて、ローマは私たち人民にどのような指示を与えてきたのでしょうか？

まず彼らが危機を創出し、この危機から脱し危機をしのぐ答えとして、教会や仕事へ行かないように家にとどまるようにとのことでした。これこそ、神の子らから決して誰も奪うことのできない、奪うことの許されない自由です。

新型コロナをしのぐために仕事に行かないようにという指示もありましたが、これもまたプロテスタント改革を通じて私たちが享受するに至った自由の一つです。ローマ・カトリック、イエズス会は、WHO(世界保健機関)をはじめ様々な機関を通じ、またアンソニー・ファウチという人物を用いて、これらのプロテスタント宗教改革によって私たちが享受するに至った自由を奪おうともくろんだわけです。神様の許しがあれば、このコロナ危機を通じて、ローマはそれに乗じて日曜遵守令にまで至ったことでしょう。

この危機に、私たちはどのような応答・反応をしたのでしょうか？ 上からの指示に従って、すんなりと私たちはこういった自由を放棄したのでしょうか？ 自己吟味すべきですね。本当に深刻な質問であります。

WHO, ロックフェラー, ロスチャイルド, イエズス会の合併事業

主に WHO を用いてローマ=イエズス会は、世界中の人々にこういった自由を放棄するようにとのメッセージを発し続けたのです。



イエズス会は、ジェイコブ・シフを利用してアメリカに渡り、アメリカの銀行を乗っ取りました。そのために、モルガン・ロックフェラー・カーネギー・ヴァンダービルトなどの金を介して支配権を獲得しました。ロックフェラー家は、1948年にイエズス会が WHO に資金提供するために利用した人たちなのです！

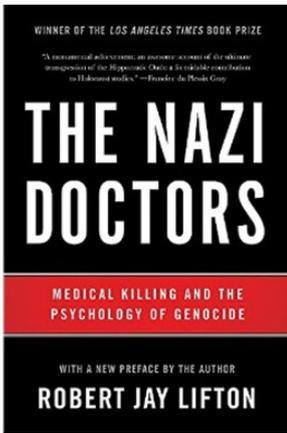
ウイルス・免疫系・ワクチンに関する研究や実験を行える医師を、どこで調達できたのでしょうか？

世界保健機関を通じてローマが、本当に人の命を奪うことができる病気を作らせたことが分かっています。そしてワクチンをも作らせたのです。「ビル先生、つまり国際的な陰謀がはびこってるってことですか？」と私はよく聞かれます。

ぜひ皆さんには目を覚ましていただきたいんです。ローマが世界中の富裕層を支配していて、そして、その富裕層によって保健機関や製薬会社も動かして、このワクチン製造に至ったことをぜひ理解していただきたいのです。

ペーパークリップ作戦

ペーパークリップ作戦というものが、第2次世界大戦後に推し進められました。当初は「オーバーキャスト作戦」と呼ばれ、後に「ペーパークリップ作戦」と改名された秘密作戦で、これらのドイツ人科学者約1,600人とその家族が、冷戦時代にアメリカのために働くべく、アメリカに呼び寄せられたのです。その目標は、ドイツの知的資源をアメリカのロケットや**生物・化学兵器の開発**に役立てることと、



そのような重要な情報がソ連の手に渡らないようにすることでした。ウイルス学、免疫学、ワクチンの分野全体が、第2次世界大戦後に完全に变化したのです！ドイツの科学者たちは、アウシュビッツやベルゲン・ベルゼンのような場所で、収容者

を対象に研究を行っていました。そして今、彼らはその高度な研究をもとに、集団で実験できる生物兵器の研究を行うようになったのです。これらの研究は、世界中の人々を殺すために使われることになるのです！

もう一度言いますが、このウイルス学・免疫学・ワクチンの分野全体に戦後、大変化が見られ、そして、このドイツの科学者らの研究・技術をもとに、世界中の人々を大量に殺す計画が推し進められているわけです。ですから特に私たちは、自分の体に何を取り入れるかに関して極めて注意したいものです。

私たちが神の民として健康でいられるように、神様は、私たちに8つの健康の法則を教えてくださいました。ぜひ健康を保ち免疫力を高めるために、神様からいただき教えられた8つの健康の法則を実践していただきたいのです。同時に、本当に中に何が入っているか得体の知れないワクチンを容易に体に取り入れられないように、よくよく注意していただきたいのです。実は、こういったワクチンを用いて、多くの人の命を失わせる計画が進行中なのです。

今晚これらのスライドを通じて、どういったことを見てきましたか？

イエズス会ならびにローマ・カトリックの高官たちが働きかけて、アメリカ合衆国の主だった多くの人たちに多額の資金が流れました。もちろん、そういった多額の資金が流れたのは、アメリカ合衆国だけではありませんでした。世界中に及んでいます。そして、その資金を用いてロックフェラーをはじめローマの手先となった人たちが、WHOならびに世

界中の様々な保健機関を設立したんです。各国にも国立の保健機関が設立されていきました。これらの保健機関を通じて様々な研究が推し進められた結果、人々を癒すためではなくて、逆に人々の命を奪う薬物が開発されていったんです。その資金が流れていた場所の一つが、中国の武漢の研究所でした。

狂気

「例えば、エーリッヒ・トラウブは、人里離れたリームス島の帝国研究所で生物戦の責任者を務め、彼の生物戦研究の専門はウイルスと細菌性疾患であり、その助手アン・バーガーは1951年にペーパークリップ作戦で海軍に出向いた。ベテスダ海軍医学研究所に配属された彼らは、40種類以上の感染力の強いウイルスの致死量を決定するために動物を使った実験を行っていた」。

ハント、L. シークレット・アジェンダ、ナチスの科学者、米国政府とペーパークリップ計画、pgs. 4, 145-147

ロバート・リフトンは、「ナチスの医師たち」と題する本を書きました。その中で、ナチスの医師らは、ウイルス、免疫系を攻撃する方法、生物学戦争の研究をしていたことを説明しています。彼らは殺人者であり、戦後アメリカに連れてこられた。彼らの研究はロックフェラー／イエズス会の合併企業によって資金提供され、ウイルスやその他の生物学的手段で、アメリカ人やその他の人々を殺すことを目的としていたのです。

世界中の保健機関において秘密裏のうちに、人々の命を奪うウイルス・病気が、実は研究され開発され作り上げられているのです。



アメリカだけではない

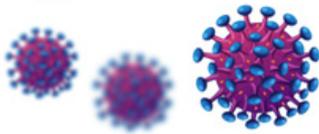
「1969年までに592のウイルス研究所が存在した。…欧米以外では137のみ。この12ヶ月の間に、CDCとNCIを含む最も活発な4つのセンターは、2,514株のウイルスと1,888アンプル分の抗血清を主に参考にする目的で配布した。7万件以上のウイルス分離の報告がWHOのネットワークを通じて送信された」。レナード・ホロヴィッツ著、新興ウイルス33ページ

人々の癒しではなく殺害目的のために、こういった世界中の保健機関においてウイルスの研究開発がなされているのです。70年前にWHOが設立されて以来、どのように彼らが働き、どのようなことを行ってきたのか…例を挙げたいのですが、その効果的な一例となるのが、エイズウイルスの開発です。

働きかけて破壊する WHO

WHAT IS HIV?

Human Immunodeficiency Virus (HIV) is a virus that attacks cells that help the body fight infection.



There's no cure, but it is treatable with medicine.



ホロヴィッツの名著『新興ウイルス』には、ロバート・ギャロによって監督されたアメリカの研究所でエイズウイルスが作られたことが、多数記録されています。

このロバート・ギャロという人物は実は、アンソニー・ファウチの親しい友人なのです。

そして、このエイズウイルスは天然痘ワクチンに添付され、1970年から1980年の間におよそ2千万人のアフリカの人々に投与されました。このアフリカへの意図的な攻撃の結果、何百万人もの人々が死んだのです！かつて繁栄していた村や町は、今ではすっかり荒廃しているのです！

イエズス会・ロックフェラー・ビルゲイツやアンソニーファウチといった人物は、世界人口を実に10億人以内に削減したいと目論んでいるのです。それがどういうことか、お分かりでしょうか？

この世界から約70億の人々を抹殺したいと考えているのです。そして、多くの人を殺害する目的で、さまざまなウイルスやワクチンが作り出されているのです。特に何百万にも及ぶアフリカの人たちを殺害するのに、エイズウイルスが作り上げられて、その効力を発揮したのですね。

なぜアフリカ？

何百万人もの人々を死に至らせたエイズウイルスのターゲットが、なぜアフリカだったのでしょうか？

「戦争と陰謀と欺瞞とが、聖書の信仰の証人たちに向けられ、ついにブリトン人の諸教会は破壊され、あるいは法王の権威に余儀なく屈した。ローマの管轄外にあった国々には、幾世紀もの間、法王教の腐敗にほとんど染まることなく存在したキリスト者たちの団体があった。彼らは異教に囲まれていたために、時の経過につれて、その誤りに感化された。しかし彼らは聖書を信仰の唯一の規準とし、その真理の多くを固守し続けていた。

これらのキリスト者たちは、神の律法の永続性を信じ、第四条の安息日を守っていた。この信仰と習慣を保っていた諸教会は、中央アフリカに、そしてアジアのアルメニア人の中にあっ

しかし法王権の侵入に抵抗した人々の中で、最も著しいのがワルド派であった。法王庁がまさにその国家において、その虚偽と腐敗は最も著しい抵抗にあった。数世紀にわたって、ピエモンテの諸教会は独立を保っていた。しかし、ついにローマが彼らに屈服を迫るときがきた」。各時代の争闘上巻62、64

1000年以上もの間、第7日安息日を遵守し、その信仰を保った人々がアフリカに存在したと書かれています。第7日安息日を含む信仰と習慣を保っていた諸教会は、中央アフリカとアジアのアルメニア人の中にあっ…と争闘に書かれています。

ローマ法王教は、特に第7日安息日を遵守する人々を憎み、そういった人々をこの世から抹殺したいと望んでいます。そして実際に、アメリカで開

発されたエイズウイルスによって、2千万人ものアフリカ人が殺されてしまったのです。大争闘下巻にも、同じようなことが書かれています。

報復

「アフリカの教会は、カトリック教会が完全に背信する前に守っていたように、安息日を守っていた。彼らは、神の戒めに従って七日目を守っていたが、教会の習慣に従って、日曜日に仕事をするのを避けていた。ローマは、法王権を獲得するに及んで、神の安息日をふみにじて教会自身の日を高めた。しかし、アフリカの諸教会は、千年近くの間隠されていて、この背信に加わらなかった」。各時代の争闘下巻 337

ローマは自分たちに従わないアフリカを嫌っている



安息日を守る強力なキリスト教会は、聖霊とエチオピアの宦官のおかげで、アフリカに存在し続けました。これらの教会は、何世紀にもわたってアフリカに存在したのです。ローマ法王教が服従を要求したとき、アフリカ人は拒否しましたが、その報復は地獄のようでした。奴隷制度とエイズウイルスは、ローマによる報復の顕著な例なのです！！

アフリカの人たちの神への愛、神の真理を愛するがゆえに、ローマの標的となって、多くのアフリカ人が殺害されるに至ったのです。かつてはその報復としてアフリカ人を憎んでいたローマによってまずは奴隷制度が敷かれ、さらに近代においてはエイズウイルスが用いられて、アフリカの人たちは多大な被害を被るに至ったのです。

繰り返しますが、ロックフェラーのような一族に

多額の資金援助をして、ローマは人々を死に至らしめるウイルスの研究そして開発を行ったのです。そして大きく貢献したのが、エイズウイルス。エイズウイルスによって多くの罪なきアフリカの人々が殺されてしまいました。さらに、ローマの手の及んでいる研究所で新型コロナが開発され、そして同じ手法で、また多くの人の命が奪われようとしているわけです。

ある人に「そんなことはあり得ないでしょう。実際、テレビのニュースとかで一切そういうことは報道されませんよ」と言われました。

私たちは、どの声に耳を傾けているのでしょうか？

聖書によると、大いなるバビロンは世界人口をコントロールするために、ウイルス・薬物・ワクチンなどを用いると言われています。聖書と証の書、特に「各時代の争闘」に私たちは耳を傾けているのでしょうか？それともアンソニー・ファウチのような人間ではないと言えるほどの悪人に耳を傾けるのでしょうか？バチカンによってコントロールされているメディアに、私たちは耳を傾けるのでしょうか？それとも、神の言葉に、私たちは耳を傾けるのでしょうか？

免除

アメリカの以下のグループは、新型コロナワクチンの接種を免除されています。これはワクチンではなく、自然界には存在しない人間のDNAを改変するm-RNA遺伝子治療技術です。…つまり実験なのです！

米国議会の全員と議会スタッフ、下院と上院の全員を免除。すごい人数です。6,000人のホワイトハウス職員。ファイザー社2,500人、モデルナ社1,500人、ジョンソン・アンド・ジョンソン120,000人。CDCが1万5千人、FDAが1万4千人。彼らは皆、予防接種を免除されています。我々民衆には注射が

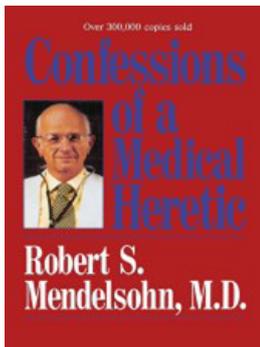


強要され、拒否すれば失業する人もいるのに…。

なぜ上記の特別な人たちはワクチン接種をわざわざ免除されているのでしょうか？理由は簡単です。ワクチンによって命を失う場合があるからなんです。ワクチンが大量死の秘密の原因になっているかもしれないから、政治家と製薬会社はこのような殺戮に巻き込まれたくないのです。

実験台の一環として、私は自分の体に毒が入られるのを断固拒否したいと思っています。この背後・水面下で起こっていることについて知っている人たちも同じく、こういったワクチンを拒否するのです。背後で起こっていることを理解しワクチンの実態を知ってる人たちが、ワクチン接種を免除されている現状なのです。

ある医療異端者の告白



現代医療に25年間携わってきた医師ロバート・メンデルソンによる「ある医療異端者の告白」は、医療と製薬の癒着を暴露する多くの近著のうちの一冊です。

「かつて治療の代理人であった医師は、今や病気の代理人となってしまった。行き過ぎた、極端なものの力を平均値に拡散させることによって、現代医学は極端なケースの管理さえも弱め、腐敗させた」。

メンデルソン博士は、近著「ある医療異端者の告白」の中で、長い医療生活の中で目の当たりにした利益追求、強欲、無能、腐敗、その他の悪夢の数々を描いています。

メンデルソン博士：「私は、月へ向かう宇宙飛行

士のような気遣いを感じさせるような超技術とエリートなベッドサイドマナーにもかかわらず、あなたの健康にとって最も危険なのは、現代医学を実践する医師であると信じている。私は、現代医学の治療法が有効であることはめったになく、その治療法が対象としている病気よりも危険であることが多いと考えている。その危険性は、病気でないのに危険な処置が広く行われていることによって、さらに増していると思う。私は、現代医学の90%以上が、医師・病院・薬・器具など、地上から消えることができるかと信じているし、私たちの健康への影響はすぐに有益なものになるであろう」。メンデルソン博士の「現代医学の9割を廃棄すれば、人々はより健康になる」という驚くべき仮説は、次のように確認されました。

予防接種か？ 神の計画か？

私たちの目の前には選択肢があるのです。

主の計画である8つの健康の法則は、体力・強い免疫力・活力をもたらします。これによって、私たちは主の声を聞き分け、主の道を歩むことができるようになるのです。



悪魔の計画は、人々を殺すことを目的としたローマ式のワクチンによって、病気・苦しみ・死をもたらすだけです。

神よ、あなたの道を歩むことができるように我らを助けたまえ！ 私たちは、どちらを選ぶでしょうか？

8つの健康の法則という誰にでも実践できる単純

な健康法が私たちに与えられていることを、本当に感謝したいと思います。ぜひ、これらの健康法を実践して、私たちの免疫力を高めたいものですね。そうするならば、今後も来るべき危機的な状況を、私たちは神様の恵みによって乗り越えることができることでしょう。

お祈り

お祈りして閉じたいと思います。

天の愛するお父様、私たちに聖書と各時代の斗争闘が与えられていることを、心より感謝いたします。これらの情報が暗闇に輝く灯火として、私たちに照らされていることを感謝いたします。これらの御言葉を通して、この世界で実際に何が起きているかをはっきりと見るできるようになっていることを感謝いたします。私たち一人一人を強めてくださり、どうか、あなたの声に従っていくことができるように助けてください。法王教からもたらされた様々な欺瞞・嘘、人々を死に至らせる道具に私たちが抵抗することができる知恵と力を与えてください。常にあなたの道を歩み続けることができますように助けてください。イエス・キリストの御名を通して、お祈りをお捧げいたします、アアメン。

終わりに

金城先生：世の人の知らない真実を、聖書と預言の霊からこのように解き明かしてくださることは、本当に有り難いですね。昨日と今日の講義をDVDや書物にして、皆さんばかりではなくてお友達にも、本当の真実…今 陰謀論が非常に流行っていますが、本当の聖書と靈感の言葉によって支持されている真実を知らせたいですね。

黙示録の難しいところが分かってきましたね。「すべての国民は彼女の**まじない(魔術)**でだまされる」と書かれています。我々は、真実を人々に知らせなければならない責任があります。決して決して権力に屈しない個性をもって、神の栄光を表したいと思

います。

これからの非常に危機的な混乱を乗り越えてゆくには、ヒューズ先生みたいな勇気と信仰が必要だと思います。私たちも現代の真理にしっかり立って、日本人の救いのために頑張ろうではありませんか。皆さんは、この日本の国において選ばれた人たちですから、最後の福音のために献身を新たにしたいと思います。本当にありがとうございました。感謝いたします。

ビル・ヒューズ先生のZOOMセミナー

①ニコニコ動画、② Rumble の2つの動画サイトに載せています。

1. ニコニコ動画のサイトで「コロナウイルスの欺瞞」と検索すれば、4本共ヒットします。

2. サンライズ YouTube 内で「ビル・ヒューズ牧師オンラインセミナー」で検索し、動画下の概要欄のリンクから、見るができます。



歴史と聖書の預言

各時代の争闘 E・G・ホワイト

1冊で 950円/冊
 10冊以上で 850円/冊
 50冊以上で 650円/冊
 100冊以上で 500円/冊

商品番号:B20-4 A5サイズ

「各時代の争闘」の再版で、カラーの写真、絵入りの、読みやすい新しいレイアウトです。現代の真理の書籍中、最も重要なこの本を至るところで秋の木の葉のように散らしましょう。あらゆる欺瞞の中にある現代人に正しい識別力を与え真の希望を与える必読の書。

讃美歌集&CD 契約の虹

讃美歌 160 選



商品番号:B70-1 A5サイズ、歌集 1,600 円
 :C70-1 CD8枚組 4,000 円
 :BC70-1 歌集&CDセット 5,000 円

日本基督教団讃美歌、聖歌、リバイバル聖歌、他から160曲を選びました。音程が高い調は低くして歌いやすくしています。全160曲を収録した音楽CDもあります。

まんが聖書大旅行

デビット・キム



史実にもとづく資料を取り入れた聖書物語まんが。12巻セット。オールカラープリント

11,760 円

商品番号:B42-28 A5サイズ、12巻セット



チャンネル登録をしていただくと最新の動画の通知が届きます。ぜひご利用ください。



サンライズミニストリーチャンネル
 礼拝説教の字幕動画や時事ニュース、セミナー、ドキュメンタリー動画など聖書に関連した動画を多数配信



サンライズ今帰仁教会安息日ライブチャンネル
 毎週土曜日午前10時より聖書研究と説教メッセージをYouTubeライブ放送中。



サンライズミニストリー讃美歌専門チャンネル
 讃美歌、その他音楽プログラムを配信中。



サンライズミニストリー子どもチャンネル
 子ども向けの聖書のお話しや子どもさんびか、動物の話などを配信中。



オンラインストアも
 ご活用ください！



www.sunriseministry.shop